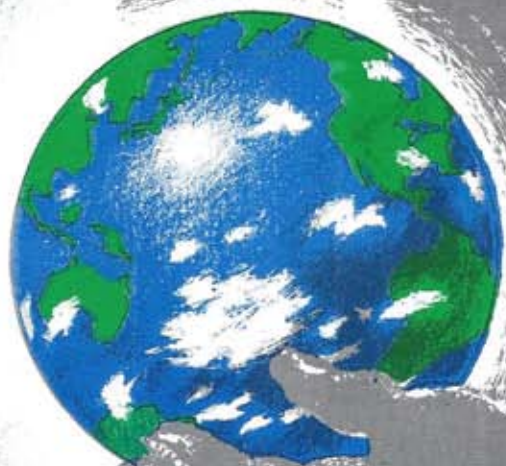


オーロラ 冬

カナダのライフスタイル誌・99-2000年第29号

日系社会の「モザイク」・
三浦信義/粗食の勧め
・後藤順子/99年末
ニューヨークで見たリ
聴いたり・青柳俊明
/BC州ミーガークリ
ーク温泉マイク
佐藤/カナダ百歳
・その長寿の秘密
秋坂真史



1部3ドル50セント

HORSEPOWER: 222
0-60: 6.7 SECONDS*
CARS LIKE IT: 0



THE ALL-NEW 2000 NISSAN MAXIMA. *The numbers don't lie. But what's most impressive is that these performance gains were achieved on a powerplant already hailed as "simply the best V6 engine."** What these numbers don't reveal are the hedonistic comforts of the new, more spacious Maxima interior – including a new, available, custom-tuned 7-speaker Bose® audio system with CD player, and an even more generous bounty of rich Seton leather trim. Add to this a re-engineered steering system so responsive it feels connected to your synapses. No wonder Consumers Digest rated the new Maxima a "Best Buy for 2000."† Plus Maxima SE just walked off with The Automobile Journalists Association of Canada award for "Best New Sports Sedan" and Maxima GXE took home their award for "Best New Family Car (more than \$25,000)." Tally it all up and you'll net out to the 2000 Nissan Maxima. And nothing else. Inquiries? Click www.2000maxima.com. The all-new 2000 Nissan Maxima. **CARS LIKE IT: 0.***

*Motor Trend, July 1999 (0-97 km/h). **Ward's Auto World, June 1999. †Consumers Digest, December 1999



DRIVEN.



"Best New Sports Sedan"
"Best New Family Car (more than \$25,000)"

Automobile Journalists Association of Canada

C O N T E N T S

オーロラ 冬

カナダのライフスタイル誌



1999-2000年冬 第29号

冬のイベント・カレンダー	2
「カナダ往還」ドライバー 見たり聴いたり試したり	足立誠之 5
「日系社会のモザイク」	6
「某月某日」宴の後の棚卸し	三浦信義 8
「東京裏通信」癒しグッズ事情	半田宏治 10
「シコリちりぢり記」過去は戻らない	尼子三矢子 12
「カラーテレビからプラモデルへ」	真矢ときこ 13
第2次大戦で活躍した800機を集める辻俊雄さん	14
「パブリック・スピーチは怖くない」	後藤順子 17
「ゆきかう想いの中で」シャム猫キャシー	長井東美 18
詩「旅行カバン」	岩崎美穂 19
「99年末ニューヨークで見たり聴いたり」	青柳俊明 20
「不老長寿の薬を探して・粗食の勧め」	後藤順子 22
「ホールライフ・エキスポ99」	25
「インサイド・アウトサイド」アラタッタ	高中公男 26
「アヒルの天国」もういくつ寝ると西暦二千年	森貞一弘 27
「カナダの百歳、その長寿の秘密」	秋坂真史 28
「妖精たちの語らい」(1)フィフス・エレメント	月華麗 30
「ホーム・ドクター探し」	31
「BC州ミーガークリーク温泉のマイク佐藤」	32
「夏雲冬椰子/乞食のいない国、幸せ?それとも・・・」	香西宏昭 34
「ミュージアルファンド入門」	島川大輔 36
「日塔富夫ののが虫にっこり」イラストあれこれ	37
「今世紀最強のアン・完成版赤毛のアン」	梶原由佳 38
「OCS 本の紹介」	39
編集室から	40

表紙 野尻佳子 デザイン 山本博・日塔富夫・西田トラ

1部 3ドル50セント



トロント

★イベント

▽ファースト・トロント

ハーパーフロント

十二月三十一日～一月一日
一九〇〇年代さようなら、二千年代こんにちわの最大の催しは大晦日の午後二時から十二時過ぎまでハーパーフロントで行われる一大記念イベント。ダンス、音楽など四十チームのローカルタレントが登場する。ミッドナイト花火大会でミレニアムを迎える。ラストマン市長はじめ二万人が集まる予定。入場料十ドル。
問(416) 973-3000

★トロント・シンフォニー

ロイ・トムソン・ホール

去年九月以来二ヶ月以上続いたトロント・シンフォニーのストが解決して、年末のヘンデルの「メサイヤ」からステージに復帰した。さて今シーズンの聴きものは

▽R・シュトラウス「組曲薔薇の騎士」、ワーグナー「ジークフリート牧歌」、ブラームス「バイオリンとチェロ協奏曲」、モーツァルトのバスーン協奏曲「広上淳一指揮
広上淳一はヨーロッパ、アメリカで客演指揮者として活躍、ベルデイの序曲「ナブッコ」で始まる魅力的なプログラム。彼の熱っぽい演奏でよく「薔薇の騎士」など大いに期待されるところ。



一月二六、二七日がジル・シャムハムのバイオリンとタニエル・ドンブのチェロ、二九、三一日(マチネー)がマイケル・スイーニのバスーン。
▽二月ははじめのユカレバカ・サラステ指揮、ラド・ルプウのシューマンのピアノ協奏曲イ短調も今シーズンの聴きもののひとつ。二月二、三、五日。問(416) 593-4828

★展示

▽「ミケランジェロからピカソまで」

アート・ギャラリー・オンタリオ
一月二二～三月二六日
ミケランジェロ、ダヴィンチ、レンブラント、ルーベンスからピカソに至る古今の天才画家達の力強いデッサン四十五点、ウィーンのアルベルチナ美術館の提供。
三月五日まではコルネリウス・クリューグホフによるカナダのバイオリン時代の風景と生活画も展示。
問(416) 979-6610

★舞台



▽「メモリー・オブ・ウオーター」

ウィンター・ガーデン・シアター

二月一七～四月八日

英国の劇作家シャラー・ステファンソンのダーク・コメディ。母親の葬式に帰ってきた仲の悪い三人姉妹は...

問(416) 872-1221-800(461-3333)

▽オペラとバレエはハミングバード

シアターで一月から二月初めにかけて、カナディアン・オペラ・カンパニーによりモーツァルトの「ドン・ジョバンニ」とワーグナーの「さまよえるオランダ人」を交互に上演する。バレエはチャイコフスキーの歌劇のバレエ化「オネーギン」を二月に「ジゼル」を三月に上演。
問オペラ(416) 363-8231
バレエ(416) 343-9395

★ポピュラー

マッセイ・ホール

ブライアン・アダムス 一月十一、十二日

BBキング 一月一七日 昼夜二回

コードー太鼓 二月一八、一九日

ブルース・コクバーン 三月二五日

問(416) 872-4255



日新

NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／

海外・国内引越し／事務所移転...その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、

香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び

「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供致します。

TORONTO/ 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3

Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

VANCOUVER/ #150 2501 Viceroy Place Richmond, B. C. V6V 1Y9

Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

モントリオール

★イベント

- ▽インターナショナル・オートショー
一月一六〜二三日
ブラス・ボナベンチャー
新型車ショーはハリファックスから始まって、東から西に移動する。各メーカーの記念すべき二〇〇〇年型車が一堂に集まる。
問(514) 397-2222
- ▽インターナショナル・ボート・ショー
二月三日〜一二日
オリンピックスタジアム
▽ナショナル・ホーム・ショー・庭園・ショー
二月二五日〜三月五日
家具、家内装飾、台所、浴室とトイレ建設、修理、暖房、エアコン、窓、庭園等、住居に関する全産業が出席する最も重要なホーム・ショー。目的が無くても見ているだけで楽しいし、役に立つ。
問(514) 527-9221
- ▽ゴルフ・トラベル・ショー
三月十日〜十二日
パレ・デ・コングレ
問(514) 871-3170
- ▽ワイン・ビール・スプリット・ショー
三月十六日〜十九日
ブラス・タルム
世界の飲料を見たり、試飲したり、恒例のバイリンガル催し。
問(514) 871-3170

★植物園・昆虫館
▽メーブル・シロップの作り方

三月二日〜四月二日
植物園の樹でメーブル・シロップの作り方を実際に学ぶ。
問(514) 871-4400

▽インセクト試食会
二月二六日〜三月五日
イナゴやゴオロギなどの異色の昆虫料理の味覚?を楽しむ。肝試し試食会。勇気と好奇心のある方は是非一度おためしあれ。
問(514) 487-5190

★パフォーマンス

- ▽「レ・ボヌヌ・ソランジュとクレール(二人のメイド)」
一月十八日〜二月十二日
ブロスベロ劇場
ジャン・ジュネ作の主人を殺害した二人のメイドの話。シャブロー監督で映画化されている。その映画をハリウッド化したのが「セルマとルイズ」フランス語上演。(514) 525-6582
- ▽「上海クンジュウ・オペラ」
二月十二日
サントル・ピエール・ペラド
歌、舞踊、マイム、曲芸など中国伝統の技を競う。
問(514) 987-6919, 790-1245

★アート

- ▽「メキシコ現代美術一九〇〇〜一九五〇」
二月六日まで
リベラ、シケイロス、オロスコから



始まるメキシコを代表する現代絵画、彫刻等四十人の作家の二百点を展示。この後オタワのナショナルギャラリーに移動する。
問(416) 285-1600

▽「ゴキギャンからトゥールーズII ロートレックへ」
二月三日〜四月十六日

前世紀末、フランスでは日本の版画の影響を受けて版画が流行し、多くの優れた作品を生んだ。この際ロートレックの版画の実物に眼を触れるまたとない機会。ゴキギャンの版画は珍しい。
問 514 28501600



★コンサート

- ▽「リターン・オブ・シャンタル・ジュリエ」
二月十五〜十七日
サール・ウィルフリッド・ベレティエ
シャルル・デュトワ指揮、モントリオール・シンフォニーがジュリエと共演、ヒンデミットのバイオリン協奏曲、マーラー、ウエーバーなど。
問(514) 842-9951
- ▽「東京クワレテット」
二月二十八日
ドニス・ベレティエ劇場
ドビュッシー、ウエーベルン、シューマンなどのプログラム。
問(514) 842-2112



日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

バンクーバー

★イベント

▽「ポーラーベア・スイム」

一月一日 イングリッシュベイ
恒例の年明け行事、太平洋での
二千年の初泳ぎ

問(604)665-3224

▽「フェスティバル・オブ・ライト」

一月一、二日
ヴァンデューセン植物園

園内に二万個以上の点滅照明を
設置してウィンターガーデンを魔
法の国に変える。

問(604)878-9274

▽コムデックス・カナダ・ウエスト・

2000(一月十九〜二十一日)
ヴァンクーバー・コンベンション
& エクシビジョンセンター

西部最大のエコノミック・イベン
ト、昨秋ラスベガスで開かれたコ
ンベンションでは、インターネット
・エコノミー時代を迎えて、多くの
ニュープロダクツが飛び出した。

時代はすでにP.Cの彼方に進んで
いる。テーマ別会議もあり。
問(604)641-1987

http://www.zdevents.com.comdex



▽カントリー・リビング・ショーと

アウトドア・フィッシング・ショー
パシフィック・コロセウム

両ショー共、新製品や機器を多数
のメーカーが出店し、この種では
最大の展示。(一月二一〜二三
日) (604) 683-4766

▽インターナショナル・ボート・ショ
ー(二月九〜十三日)
BCプレイス・スタジアム
www.sportmenshows.com

★バンクーバー・シンフォニー

オルフェウム・シアター
▽「ガーシュイン・ピアノ・コンチェル
ト他」一月十日

ジョン・キムラ・パーカーのピアノ
でセルジウ・コミッシヨナ指揮。他
にラフマニノフのラプソディなど。

▽「ミドリ」二月二二、一四日

秋山和慶の指揮でバイオリンのミ
ドリとドボルザックのバイオリン
協奏曲を共演。



▽「デューク・エリントンに捧げる」

一月二八、二九日
ジェフ・ティジク指揮で人気のボツ
プス・シリーズ、A列車で行こ
う！、キャラバン、ムード・インデ
イゴーなどエリントンの作品をシ
ンフォニック・スイングで演奏。

問(604)876-34340

★ステージ

▽「モリエール 女房学校」

ジェリコ・アーツ・センター
二月四日〜二七日
ユナイテッド・ブレイヤー・オブ・
バンクーバーの出演によるモリエ
ールの古典喜劇。

問(604)224-8007

▽「THE STOOPS TO CONQUER」
バンクーバー・ブレイハウス
二月十四〜三月十一日

オリバー・ゴールドスミスのコメデ
ィー。豪華な舞台セットと衣装と
共にウィットに溢れたブレイを楽
しむ。
問(604)873-3111



▽バレエはエブリン・ハートのダンス

・コンサート(二月三日)、ロイヤル
・ウイニペグ・バレエ団の「美女と野
獣」(二月一七〜一九日)、
▽歌劇「ドン・ジョバンニ」

三月二五、二八、三十日、四月
一日、三日
クイーンエリザベス・シアター

ドン・ファン伝説をテーマにしたモ
ーツァルトの劇的なオペラ、オー
ストラリアのバリトン、ピーター・
コールマン・ライトがドンジョバン
ニを歌う。指揮はモーツァルトを
得意とするスチュアート・ペドフォ
ード。

問(604) 683-0222

★プラネタリウム

▽「ファンタスティック博士のミレニ
ウムショー」
パシフィックスペース・センター
ビッグバンからその終末まで、時
間の秘密をタイムマシンに乗って
解明する。

問(604)738-7827

◇表紙の言葉

ミレニアム・ユーホリア

野尻佳子

この千年、世界は何回も波乱を
くり返し、大きく変わってきたが、
ことにテクノロジーの発達は近年め
ざましく、増々加速度的に進んで
いる。

宇宙探査機は太陽系の果てから
映像を送って来、世界はインタ
ネットに回らされ、サイバー空間の
バーチャル・ルームでチャットし合っ
ている。ほんの二十年前、コンピユ
タのこれほどの急速な普及を誰が
創造したのだろうか。

これから次々と新しい問題を生
み出し、私たちの価値観、倫理観
に挑戦してくるだろう。それに応え
る知恵を私たちは備えているだろ
うか。やはり二十年前エゴロジ
という言葉も一般人の語らにはな
かつたのである。

かつて二千五百年前、一つの高
みに達し、今の西洋文化の基礎を
創った文明があった。キリスト教以
前の人間らしいバランスのとれた、
しかも格調の高いその文明の世界
の人々の眼には今の地球はどんな
風に映ることだろうか。

ミレニアム・ユーホリアの中、一
歩立ち止まって考えてみたい。



カナダ往還

ドライバ―

足立誠之



最初に勤務したニューヨークでは有り難いことに未だ下つ端の我々もドライバ―付きの車を利用することができた。もちろん、お客訪問のための公用に限定されていたが。私のいた店のドライバ―は黒人の「今ならアフリカ系とも言うのか」Eさんであった。大柄で、いつもここにこしていたが、昔は空軍のパイロットだったとか。

彼は又、ミュージシャンで、トランペットを吹き、ジャズの楽団を持っていたし、ブルックリンのハーバーにヨットも持っているとのことであった。

大晦日の晩はコロンビア大学の近くのクラブでイヤーエンドの演奏会を開くのが彼の楽団の恒例で、団員の勤務の査定で忙しい等と車の中で話したりしていた。

さて、お済みそか。私は仕事を終え、家に帰り、娘をベビーシッターに預け、家内を車に乗せ、かねて手に入れたシャンペンを持ってマンハッタンに戻る。演奏は深夜になり、ちよつとした休憩時間に彼のところにシャンペンを差し入れる。再び演奏が始まり、舞台上に立った彼が我が社「銀行」は素晴らしいと叫んでからトランペットの音が鳴り響く。そうこうしているうちに「蛍の光」の演奏が年の終わりと新年の到来を告げるのであった。

蛇足になるが、続きは以下となる。午前二時過ぎに家に帰り、仮眠して四時に又娘を車に乗せ、家内と交代でロングアイランドの突端モントークの灯台までドライブ。そこで大西洋上に昇る日の出を拝む。

帰りはぐっすり寝ている二人を乗せて、家に戻る。すると間もなくチャイムが鳴って、近くに住む後輩の家族幾組かが年賀とかなんとか言いながら現れ、酒盛りと共に新年が動き出すのであった。

ニューヨークの思い出は、Eさんと年末年始の思い出がまず浮かぶのである。

さて、その後かなり経って、駐在員事務所長として北京に赴任することになった。ドライバ―は駐在員事務所開設以来のCさん。

中国ではドライバ―は「運転手」などとは呼ばず、司機「スージー」と呼ぶ。Cさんは日本語も出来るし、中国ではエリート共産党員でもあったらしい。

〔註：中国で事業を行う際、組合の問題が出てくるのであるが、優秀な共産党員に指導者になつてもらうのが事業の円滑な推進のために必要とよく言われた。〕

彼の愛称は小「シヤオ」C。これは最初に採用された頃はまだかなり若かったのだ。そう呼ばれていたのが当時まで続いていたのである。

途上国ではお互いの信頼なしに仕事は進められない。特に当時の中国にあつては、ある場所への移動は他人の助けなしにはなかなか出来ない。

（南京駅の真夜中、誰もいないと思つたプラットホームに人影を見つけ、それが迎えの中国銀行の人だと知つた時のほつとした感謝の気持ちは格別のものである。）

北京での最大の思い出は何と云つても天安門事件である。胡耀邦前総書記の逝去、学生のハンスト、大デモンストレーション、戒厳令施行、そして戒厳軍の武力による進駐。この間事務所内の方と日方の気持ちは自然に一体化した。

北京を離任する時、空港の税関、出国管理のところを抜けるのに三十分以上時間がかかつてしまった。何気なく振り返ると遠くに我が司機氏がまだじつと見送つていてくれた。

北京に続いてジャカルタ支店に赴任することになった。ジャカルタ支店はジャカルタ本店、ヌサンタラ分店、スラバヤ分店、バンドン分店と三百人以上の人員を抱えている拠点である。公用の支店長車の他に週末などの、私用に車を購入し、私用のドライバ―も雇うことになつていった。

公用車の運転はB氏、S氏、T氏の三人が交代で行う。インドネシア人の中ではかなり大柄のB氏は要領もよく、押しも利いた。警官に止められてもいつも不思議に押し勝つ。

S氏は運転中、頭がガクリと右に傾く。居眠りではないかとハットするが、居眠りではないのだ。

T氏は前任であるが、要領は今一つ。彼が運転する日の大きなパーティーの終わりに、ほとんどすべての人が帰つた頃最後に彼の運転する車が出てきた。

私用車のドライバ―はH氏。週末のゴルフは早朝五時集合とかのスケジュールの時もあるが、遅刻などただの一度も無し。病氣も無し。真面目で大人しく頑健な人であった。

さて、私用車のドライバ―の方が給与面で劣ることもあつて、私は出来るだけ私用車を使うことを心掛けていた。ある日、H氏に待機してもらつていたところ、大柄のB氏が庶務の指示で現れた。二人の間で私の取り合ひのような険悪な空気が流れた。いつもは大人しいH氏が絶対に引く様子がない。私はB氏に今日は家内の指示に従うようお願いさせて、H氏の車を選んだ。「公私逆転したが仕方あるまい」

後でB氏には「今日は大切な家内のために運転してくれ。又、H氏の面子を立ててくれて有り難う」と声をかけた。

その後日本へ帰つてから何回かB氏から国際電話を貰つた。「ママ「Hello」とかけてくるのには閉口した」が。

今、私の車を運転してくれるのは、あの時と同じH氏である。七年前と比べて年をとつた他はひとつも変わっていない。

（インドネシア中央銀行特別顧問）



☆日本のカナダ村

先日、かつてカナダに住んでいた日本の友人から来た手紙に、伊豆の観光地にある「カナダ村」を訪れた時の感想が書いてあった。

『先月、伊豆にある「カナダ村」を訪れてきました。このカナダ村は「虹の郷」という名称で、修善寺町の第三セクターが経営しているテーマパークです。

イギリスの街並みとカナダの街並みが再現され、その間をロムニー鉄道という十五インチゲージの鉄道が走り、周囲に日本庭園や日本の昔の民家を移築した村などがあり、人も少なく、のんびりと秋の一日を楽しめました。

が、しかし、お洒落なイギリス村の比べると、カナダ村はうらぶれた淋しい感じで、「こんなのをカナダと呼ばないで」という感じでした。カナディアン・レストランではなぜかお醤油味のサーモン・スパゲッティ。お土産屋さんはカナダのグッズがほとんどで、ON ショップの雰囲気。クートニー湖、と名前のついた「水溜まり」もあんまりだったし。ま、ネルソンという辺境の町のイメージを移したのなら仕方ないかな、とも思いますが、でもネルソンのシテイホール(らしきもの)の中には、「だまし絵」の展示がほとんどで、あと

はロッキーを紹介するビデオが流れていただけ。：。ちなみに修善寺はネルソンと姉妹都市だそうです。あれではカナダに行ってみたい、という気が起こらないだろうなあと「余計な心配」をして帰途につきました・・・」

筆者も先年、山陰で玉造から足立美術館に行く時途中だったと思うが、クルマの中からちらつと「カナダ村」を見かけたことがある。時間がなかったため、立ち寄りなかつたが、何かショッピングセンター的なところにロッグハウスが一戸建っていたような記憶がある。土地の観光案内の中でも紹介されていたが、どんな「カナダ村」だったのか、以来気になっていたもので、やはり立ち寄ってみるべきだったと思う。

☆ロボット犬 AIBO

AIBO (artificial Intelligence Robot) はロボット犬です。インターネットを見ていたらファン・クラブがあることがわかりました。持主がファンクラブを作って集まり、着物やチャンチャンコなど着せているんだそうです。持主達は、ロボットに関心がある機械好きなのか、犬好きなのか、どちらでしょう。

お座りやお手などいろいろな芸もするのかしら？
小さいからちよこまかと可愛い？
面白ければ大型犬だったらちよこと恐ろしいですね。



(ソニーが開発)

JTB

ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

☆「赤いろうそくと人魚」
山本のり子さんのマイムの夕べ

芸術に接する喜びは生きる喜びにもつながる。静かに、しかし激しく力強いエネルギーを感じられるパフォーマンスに出会えた。アペニニロード一何八番地(ターベンポートの北)にあるギヤラリー「FORA」でマイムアーティストの山本のり子さんを囲んでの夕べが年末、十二月四日に開かれた。三十数名で満席売り切れの小さなギヤラリーで舞台と観客の距離が無く一体感のある会場。前半は小川未明作の「赤いろうそくと人魚」、中休みをはさんだ後半は「花に舞う(父に捧ぐ)」が演じられた。

マイムは文字通り無言劇の世界である。話さない、語らないという条件のもとに時折に入る効果音と短文の字幕によるサポートのみで物語や詩の世界を表現するのである。当然見る側の想像力も必要で、いうならば観客との知的共同作業の上に成り立つ舞台である。前半の「赤いろうそくと人魚」では舞台に大道具、小道具を使い



カラフルに饒舌にリアリズムで語りかけた。第二作、「花に舞う」は最近父を亡くした山本さんの新作で、親と子の愛情のきずなを花びらが枝から散って海まで流されて行き、水に沈んでしまふまでの旅のような花びらの運命に寄せた人生を象徴させたものをシンブルな舞台で肉体と花だけを使った人生スケッチのような表現で人間の運命の哀れさを語る。



私は十才と七歳になる娘たちと観劇したのだが、彼女たちにとって余程印象に残ったのか数日後まで登場人物の老人の歩き方や表情を真似ていた。また南米からカナダに英語を学びに来たという人は山本さんの熱演に感激して涙して観たと後日談を聞いた。この催しを企画したギヤラリー・オーナーの西田トラ氏は「一般の人々にアートに接する場を提供し、アーティストを理解する手助けをすると共にローカルアーティストに発表の機会を作り、トロントの美術界に刺激を与えたい。ちょうど「オーロラ」の雑誌の立体的な活動のようなことをしたい。」そして「絵や彫刻を飾るだけでなく小人数の集いのパフォーマンス等も随時企画して紹介していきたい」と語る。

(山本博)

郵船の引越



ドア・ツー・ドア
サービス

ゆうせん CAPTAIN MOVE-ALL

信頼にお応えします。

海外、国内引越・小口宅配

カナダ郵船航空サービス(株)

6520 Northam Drive, Mississauga, ON L4V 1H9
Tel: (905) 673-7200 Fax: (905) 673-7120
※お気軽に山田まで日本語でご相談下さい。

Toronto・Vancouver・Montreal・Ottawa



日系社会の『モザイク』

三浦信義

カナダは多様な民族多様な文化の国だ。このトロントではあなたのようにぼやくと住んでいてもそのことには自然に気が付く。

日本人・日系人もそのモザイクの一部である。ちよつとタイル片の数が少ないんだが…。

トロントの英語日刊新聞トロント・スター紙は、トロントで話されている言語のトップ二十四(カナダの公用語である英語・仏語を除く)の番付け表を毎年載せる。

昨年まではトロントの日本語を話す人口は、少ないながらも二十四番目辺りかろうじて載っていた。それが今年は番付け表から消えてしまった。幕下に転落だ。

トロントの日系社会の人口が減ったのではない。他の言語を話す人口が増えたからだ。

しかしながらトロントの日本人・日系人が少数派であることは事実である。

(なのに日本レストラン、寿司テイクアウトが街中にあんなに沢山あるのはなぜか、はまた別の機会に)

◆モザイクの中のモザイク◆

少数派のトロント日系社会だが、

それを虫メガネで覗いて見ると、これがまた多様な「人種」のつぼであることにビックリする。

戦前からの一世、二世、三世、戦後の移住者と新二世、最近の移住



者、日系企業や日本政府機関の駐在者、留学生、ワーキングホリデー、そして余り目立たないんだが、日本で子供の頃育ち、親と一緒に移住して来た人達。

僕はトロントの日系社会でのボラ



ンティア活動を通して、これらいろいろな人達と接する機会が多くある。それらの人達と話す度に新しい発見をし驚かされる。その度に日系社会の中のモザイクに不思議な魅力を感じる。

カナダは、国民がそれぞれの民族の言語・文化を維持しながらカナダの国に貢献し、カナダを素晴らしい国に育て上げて行こうという多様な文化主義の国である。

トロントの日系社会も、日系社会内の異なった「人種」の人達が、それぞれの特徴と能力を生かして日系社会に貢献し、日系社会をユニークで素晴らしいものにしていく。

日系社会での経験が浅い頃は、僕は日系人であれば同じ日本人として話しがちだった。

今はそれが間違いであることを知っている。それだけ経験を積み賢くもなった(かな?)。

日系社会の中でいろいろな人達と連携協力してやっつて行く為には、それぞれのグループの人達がどういう歴史と背景を持っているのかを知る必要がある。

日系社会の人達を分類し色を塗ってしまおう、というのではない。そ

れはそれで綺麗で楽しいかもしれないが、相手の持つ立場・考え方を認識・尊重した上で交流することが、相手を理解する上で大事だと言っているのだ。

◆時間×距離◆

日本からの移住の歴史的背景の影響で、トロント日系社会のグループは年齢と精神的な日本からの距離とでうまく区分されてしまう。

僕の目から見た話だが…。

戦前からの一世は日本の古き良き時代の言葉使いと習慣を維持している方達である。すでにかなりの高齢になられ、その数も少なくなっている。

続く二世の方達はいわゆる「日系社会」という独特の社会を作り出した人達。彼らの心はカナダ人である。シニアの年齢となり日系社会の活動の第一線から退きつつある。

それで三世である。完全なカナダ人として育った彼らは年齢的にも三十から四十、カナダ社会でカナダ人として堂々と活躍し、その勢いで日系社会に新しい風を吹き込んでいく。日本からの距離が一番遠いグループである。そのためか逆に日本へ深い興味を持っている。

一九七〇年代を中心に大挙して移住して来たのがベビーブーマーの戦後移住者である。カナダ社会に根を下ろし、組織的にもまとまり、日本語が母国語である。ただし日本人でありながら、全く日本人でもない、中途半端な人種である(僕はそ

の典型)。

その子供達、カナダ生まれの新一世。多くが日本語を話し、航空機の発達やビデオのお陰で現代日本との距離はかなり近い。そのように日本人であることを強く意識して育ちながら、心はカナダ人である。また十代、二十代でこれからの世代だ。

日本で子供の頃育ち一九七〇年代に親と一緒に移住して来た人達がいる。この人達はあたりも触りも日本語も戦後移住の日本人と変らない。ところが彼らの心はカナダ人である。

三世と同じ年齢層で興味深い。

最近また日本からの移住者が増えていく。大決心をし夫婦で出て来た一九七〇年代とは違い、一度ワーキングホリデービザや留学で来てカナダに魅了され、永住ビザを取って戻って来た人が多い。まだ生活の基盤作りには忙しい人達だが、話していると、今度はこの国に「住む」んだ、という意識の変化を感じる。

日系企業や日本政府機関の駐在者、留学生、ワーキングホリデービザの人達をひとつのグループには出来ないが、現代日本のそれぞれの層をそのままトロントでも代表しているということでは、我々の目からは現代日本人そのままである。

◆新しい日系文化会館◆

どうです。トロントの日系社会がいかに多様「人種」のるつぼであるか分るでしょう。

こうしたいろいろな背景を持つ日

本人・日系人がトロントの日系社会の中で連携協力し、日系社会をユニークで素晴らしいものにしていく。

その活動の中心がトロントの日系文化会館、特に新しい日系文化会館である。

この新館建設への試行錯誤の過程で、トロントの日系社会のいろいろな団体や個人の連携が密になったことは特記すべきことと思う。

戦前移住者の一世から二世が中心であった日系文化会館の運営は今や三世が中心である。そこに戦後移住者が加わり、今回「新一世」が初めて理事に加わった。

新館改装・改築には日系企業を含めた日系社会のあらゆる層が参加し、また、それまでトロント市内に分散していた日系組織や施設が新館に次々に入居している。

新館は名実共にトロントの日系社会の要(かなめ)と成りつつあることは誰もが認めることであろう。物理的なものである建物が、無形である社会活動にこれほど大きな影響を与えたことは印象的である。

新館の改築・改装プロジェクトはまだ何年も続く。それが現在のトロントの日系社会に大きな目的意識を与えているような気がする。

生きる目的や希望を持つ人間は強い。それは日系社会のような集合体にもあてはまるのではないか。

この新しい日系文化会館を中心に日系社会は2000年に向けて益々ユニークで素晴らしいものになるだろうと思う。

(オンタリオ発電公社研究所)

FUJIFILM

DL-312 ZOOM



- 38mm-120mm Super EBC Fujinon zoom lens
- Continuous shooting, interval timer and sequential self-timer
- Flash obstruction warning system
- "Drop-In" loading and prewinding



DL-SUPER Mini



- Ultra compact and lightweight
- Aluminum body
- 28mm, f3.5 Super EBC Fujinon lens
- Auto/Manual switchable focusing system
- Night portrait mode and backlight control
- Flash obstruction warning



FUJI. A new way of seeing things.

某月某日

宴の後の

棚卸し

半田宏治

九十年代初頭、世界最強の経済力を誇った日本が最近どこかおかしい。つい先月一年ぶりの里帰りで最初に目にしたのは、相変わらず世界中のありとあらゆる一流ブランドで満ちあふれたきらびやかな東京のデパートであり、着飾った婦人客、特に中年層の身なりは北米よりはるかにキチンとしていて、今更ながら日本の豊かな消費生活を窺える思いがする。

十一月の秋晴れの下、神奈川に住む昔の知り合いを東京に呼び出し、北郊外に住む母の家から最寄りの駅に向かった。ホームで電車を待っている時であった。構内アナウンスがあり、「××駅で人身事故があり、三十分遅れる見込み」という。早めに家を出たので、なんとか約束の時間に間に合いホッとしていたら、横浜方面から上京する件の友人はなんと一時間も遅れてやって来たのだ。

開口一番「スマンスマン。途中で飛び込み自殺があつてネ。」の説明に心が急に凍る思いであった。翌朝の新聞で亡くなった一人は中年のサラリーマン、会社のリストラで悲観したものらしい。別の男性は中小企業主。金策につまり死を以て責任をとった模様とあった。突如としてあのデパートで見かけたブランド商品を買った漁客が何故か日光の「見ザル聞かザル云わザル」を連想させたのである。

日本が成熟型経済に到達したというのは今や一般認識と云つて良い。人口は減りこそすれ増えることはないし、その少子化と老化化は避けられない。自動車とか家電製品等の耐久消費財はその需要が行きつく所に行つてしまい、これ以上の普及は余り見込めないというのが成熟社会である。こうした需要構造になると、市場全体はこれ以上拡大しないから、A社が売上げを伸ばせば、競争相手B社はその影響をモロに受けて、A社がアップした分、売上げが減るといふことになる。この時期にある名門メーカーが二万人ものリストラ案(工場閉鎖を含む)を発表したのは、まさに象徴的な出来事であった。今、日本の企業は多かれ少なかれ、三つの過剰を抱えていると云われる。雇用、融資額、そして生産設備である。この名門企業も例外ではない。

今でこそ北米経済は好調に推移しているけれど、ここに至るまでゼイ肉を落とすべくかなりの授業料を払っていることを思い出したい。リスト

ラ、正確に言うと、ダウンサイジング(減量経営)がいつスタートしたかは企業ごとに違ふのは当然だが、私の場合は今からちょうど十年前の湾岸戦争がきっかけであったと思う。中東の紛争はいつも世界の石油供給に大きなインパクトを与える。七十四年のエネルギー危機は誰でも憶えているだろう。交通機関、各種素材、そして厳冬の暖房として欠か



が生死をかけて戦っているとするれば、その心理的な圧迫感がどんなものか云うまでもないだろう。(残念ながら日本は中東石油の有数の消費国、受益国でありながら、出費はしたけれども出兵は〇〇憲法を盾に見合わせたのである。こうした日本の国際感覚の欠如、もつと云うなら自己本位の態度が当時のパブルという狂気をいたすらに走らせてしまった一因ではないのだろうか?)

この湾岸戦争が勃発した直後の北米のマーケットの反応は光陰矢の如し、明かりはアツという間に消え、白がいきなり黒になるような圧倒的な暗転とでも云つたらよいのだろうか、その日を境に客足はピタリと止まつてしまったのである。何千台と収容能力を持つ大型ショッピングモールの駐車場は普段は満杯になる週末でさえガラガラになった。筆者の経営する新車ディーラーも同様だった。シヨールムへの客の出入りはゼロ、サーピスの客も九割方キャンセルとなり、突然手持ち無沙汰になった従業員は持ち込んだラジオで遠い中東からの戦況に聞き入るばかり。二十年にわたる小売業の体験で、この数週間程、店が死んだように静かになったことはない。それは本当に恐ろしい光景であった。

ブッシュ大統領は湾岸戦争のヒーローではあったが、同時に発生した不況に対する無策がたり、再選されなかった。市場の買い控えが深まる中で、どの企業も経費見直しに取り組まざるを得なくなった。筆者の場合は急激な需要減でスタッフの三分の一をレイオフしない限り、会

せない石油資源は文字通り先進国のライフラインであり、特にクルマ社会として石油依存度の高いアメリカやカナダで感じる危機感日本では想像できないかも知れない。(もつともエネルギー危機の時、日本ではトイレットペーパーが何故か品切れになつたらしいが。)おまけに今までの縁もゆかりもないクウエートやイラクの戦場で、息子、夫、親戚、友人

社の存続は難しいという事態に直面したのである。

よく日本の知人に北米はレイオフが社会慣行としてあるから羨ましいと云われるのだが、トンデモない認識不足と指摘しない訳にはいかない。従業員がクビ切りくらい辛いこととは異なる。同じ釜の飯という意識はここも何ら変わることはない。この騒ぎの派生として自宅に何度脅しの電話を貰ったか判らないし、首切りに怯えた一部の従業員が労働組合の結成に走りかけたことも正直云ってある。こうした経営者としての行動に対して多々批判はあるだろう。しかしこれだけは云っておきたい。全員ではないが残った従業員は守ったこと、会社をキープすることにより、銀行や新車を供給するメーカーに迷惑を一切かけなかったこと、そして客に対し今日まで営業サービス活動を続けていることである。

カナダの不況が不幸にしてアメリカよりも更に長期化した何よりの理由は、連邦政府の赤字と云うことが出来る。不況対策に予算をつぎ込むが、さしたる成果が上がらず、不況による税収不足分を国債という借金で穴埋めするというマッチポンブがしばらく続いた。しかし高金利による国債の利払いが国家予算のかなりの部分を占めるに至って、カナダ政府はこの赤字対策に本腰を入れざるを得なくなった。教育や福祉関係の予算カットも思い切ったものだったが、政府職員、上級役人のレイオフを実施、おまけに増税に踏み切り、あの悪名高き七パーセントの売

上税(GST)を導入したのである。不況下の増税で消費の冷え込みは一層深まったことは云うまでもない。

カナダの首都オタワにはさしたる産業はなく、政府の役人とその家族からなる政治都市がその実態である。ここで新車ディーラーをやっている知人に聞いたら、お役人の大量レイオフで彼の店が受けた影響はそれこそすさまじいものだったと云う。新車が全く売れなくなり、なんと店の経費を三分の二も削りまくって生き延びたというから、上には上があるものである。他方、リストラに失敗した企業も無数あることは云うまでもない。

こうした荒療治の結果、カナダ政府は今年あたりから赤字が止まり、来年の予算案には本当に久しぶりに減税が織り込まれるらしい。カナダの場合は行政の「改革」なんていう生易しいものではなく、我々企業サイドと基本的に同じ行政の「減量」に正面から取り組んだと云えるのではないだろうか？

日本政府が現在かかえる財政赤字累計(国の借金)は年間税収のなんと十倍に達して、まさに危機的な状況にあるようだ。我々企業が年間売上げの十倍もの借金をかかえたら一日もたないだろう。筆者がかりに国会議員だとしても、こんなに赤字をかかえた組織のトップ(総理大臣)には正直云ってなりたくないと思わない。冗談はともかく、この窮状にあっても、つまり、行革も中途半端、財政赤字はタレ流しの中でリーダーの政治的意志がサッパリ聞

こえて来ない日本は一体どうなっているのだろうか？

リストラや減量経営を良いとか悪いで判断は出来ないと思う。敢えて云うなら、良いとは云えないかも知れないが、やらなければ生き残れないと云う冷徹な事実がある。宴(パブル)の後の棚卸しと言ひ換えてもよい。このプロセスを経ずして経済が再び向上くとは考えられない。利益を無視したビジネスに誰が投資をするだろうか？そして再投資がなければ、経済は成熟どころか停滞、死に体となってしまふ。

遅まきながら日本でもリストラが本格化する中で、時として貴重な生命まで失われるのを見るのは本当に不幸なことと痛感する。しかし、それで迂回が許されるほど現実にはアマくはない。民間、官界共に日本のリストラがアメリカやカナダと較べて、五、六年遅れているのが気になる。

カナダの経済はアメリカはもろろんのこと、日本と較べても大変底が浅い。財政赤字に泣き、重税にあえぎ、一時は国家として破産し、アメリカに統合されてしまうとまことしやかに論ずるカナダ人も少なからずいた。未だ危機は完全には去った訳ではないけれど、懸命に然るべきコストを払って、今やとトンネルの先の明かりが見えかけて来ている。カナダでも出きるなら、日本が出来ないはずがない。今、日本の意志を世界が注目している。

新司・割烹みかど

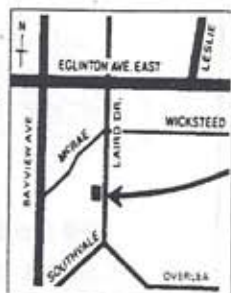
- お子様メニューもございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 梶田 佳一

114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO

PHONE: 421-6016 LICENCED

日曜定休



オーラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行
麹町支店、普通預金『オーラ』の口座へ
年間購読料、三千元を振り込み、同時に
お申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先= O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

植物観察の仲間で蓼科高原に一泊した時のこと、若い人達が変な物を持ち込んできた。

一つは「フアービー」というアメリカ製のしゃべる毛むくじやらの人形で、これは北米社会におられる皆さんには先刻ご承知のことだろと思う。もう一つは「タレバンダ」というパンダがデレーツと寝ている人形だ。これは東京の街でもやたらに売っているのも知っている。

「で、こんな物が何の役に立つの？」と聞いてみた。

「えーっ知らないんですかア、癒しグッズなんですよ」

「イヤスグッズ？」

「これ触っていると気が休まるでしょう？」

というわけで、その子達にルポしてみた。

話によると、ヒーリングというのは今や常識になっていて、この東京には癒しグッズだけを売る店が何軒もあるのだそうだ。「どんな物がそのグッズなの？」と聞いてみたところ、六人の若者がいろいろ挙げてくれた。

ロポット(フアービーもそれだ)

ベット(犬猫のことではなく、クラゲとかミジンコとか小さな虫類等々)

枕、寝具(中にハーブとかお香が入っていてホノカな香りで癒される)

パーチャルベット(例えば水槽の中に、あなたも本物の熱帯魚が泳いでいるように見えるが、実はコンピュータ制御されている画像が仕組まれている)

合法ドラッグ(気を引き締めたい時、眠りたい時とか、その用途に応じて使う。お茶が多い)

「癒しグッズ事情」

東・京・裏・通・信



『癒しグッズ事情』



尼子三矢子

ヒーリングミュージック(小室哲也というミュージシャンがCDを出したところ、発売当日にはすでにソルドアウトになるほどの人気で、若者よりむしろ中年の疲れたオトサンが買ってしまったそう)

「ナー」と書いてある。いろいろな品物が置いてある。最初目にいったのはお香。カモミール、ラベンダー、スマイレ等とハーブ系の物が香りに練り込んであるようだ。形もいろいろあって、私もつい、チップ状の香が小さな袋に入っている「枕元に置いて安眠をあなたに」という名前の匂い袋を買ってしまった。その他、高原の鳥の声セットされた時計、フニャフニャのピエロ人形、セセラギの音が流れているCD等々、あの蓼科で若い人に聞いたような品々がズラリと並べられていた。

そういえば八十年代にサイコセラピーというのが流行ったことを思い出した。小説、映画、エッセイとあの時もブームだった。その頃から世の中は優勝劣敗のムードが支配し、自然淘汰された人間は声明そのものを憎悪することさえあった。

「社会的ダーウィニズムの怯え」などといわれた年代で、競争社会での癒しを求めて、セラピストの門をくぐったビジネスマンも少なくなかったと聞く。

今も未だその風潮が尾を引いていて、若い人達のヒーリングブームとなつたのではないかと分析する。

癒しグッズの棚で「口臭、体臭を根本から消し去るグリーンの粒」というのを見つけた時、そのままして自分の存在を無として癒されたい現代人のやりきれなさを感じて帰ってきた。

そこで東京へ帰ってから、教えてもらった店へ行ってみた。大規模な玩具店だ。その一角に花で飾った吊り看板があり、ホントだ。「癒しグッズコ



格安でよい品物をお探しなら当店で!!



小沢カナダ

- ・ ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・ Henckel ・ 家庭用品 ・ 電気製品 ・ 日本食品
- ・ メープルゴールドコイン、メープル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3. RICHMONDHILL,
ON L4B 1E2 Eメール: ozawainc @instar.ca
TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto
(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

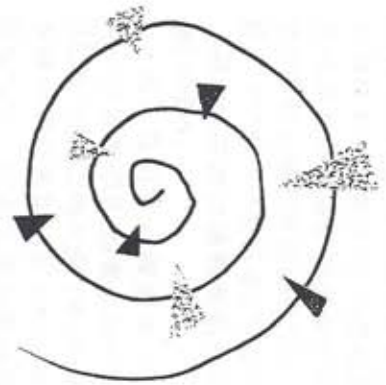
シコリちりぢり記 過去は戻らない

真矢 ときこ

一九九五年十一月、乳ガンの診断を受けた。こんな事ってアンマリだと思つた。あれから僅か数年しか経つてないのに今年（一九九九年）の三月に、また、恐怖の告知と対面。今回は、初回より厄介だ。チリチリと転移しているっていうのだから。

完治を願つて、ガマンの子で受けた抗がん剤治療は役に立たなかつたのだから。身も心も痛みつけられ、苦しんだのに。それだけではない。放射線を一カ月間もあて、ジワジワこ

んがりと焼き続けたのは何のため？ 広がらないように病巣あたりを集中攻撃したのではなかつたのか。それなのに、どうしてこんな事になつてしまつたのだろうか。



たので、ついでに診てもらふことにした。

老化現象と診断され、その場で、首肩のレントゲン検査に送られた。結果はホームドクターの言う通りだった。日本風にいえば「肩」ということになるらしい。それでも、少々気になつたので、他の専門医のところへ、念のため、セカンドオピニオンをとつた。やはり答えは同じ。

我が身も自然現象にはかなわな

い。やっぱり、枯れ始めているんだなと寂しくはなつたが、心配していた再発転移ではなく、ほつとしたのだつた。半年もすれば治るだろう。「ガンじゃない、ガンじゃない」としつこく言い聞かせながらの日々を送つた。

まま。さらに、なんと、鎖骨あたりにクリンクリンとするシコリを発見してしまつたのだ。当然ながら、新たな不安と恐怖がやつてきた。

CTスキャンをとるべきだろうか。他の精密検査が必要だろうか。薬事専門医（キモオノロジスト）の診察をすぐ受けた方がいいのだろうか。でも、二人の医者が老化現象と言っているのだから、それを信じよう。疑つたらきりが無い。敢えて病気を探し出すことはないのだ。正直言つて悪いニュースを聞くほどの勇気はなかつた。

そうこうしている内に、薬事専門医での定期検診日がやつてきた。駄目押しのつもりで痛みを訴えてみた。ついでに、万が一のため、鎖骨あたりのシコリも触つてもらつた。この瞬間、かつて見たことのない医者

の強ばつた顔が目に入ったのだ。しばらく無言状態のまま、緊張した面持ちで触診。なぜか足のほうまで、念入りに調べている。この不気味な雰囲気

を織細（？）な私が見逃すはずはない。

「再来ですか」と震えながら上ずつた声で聞くと、「残念だけどネ。とにかく、明日、精密検査をして確かめましょう」

「エッ。そんなに早く？」一瞬、呆気にとられた。なぜなら、オントリ

才州の医療事情の悪化で、精密検査はかなり待たされることがあると聞いていた。そんな矢先に、緊急でそんなんでよほどのことだろうと、事態の深刻さを察した。病状を愁うべきなのか、それとも即刻対応を喜ぶべきなのか、複雑きわまりない心境だった。

診察台に坐つたまま、頭がボワーンとなり、目に映るものはすべて黒っぽい。体は水の中か雲の上にいるようにフワツとし、聞こえるものは妙に雑音化したざわめき。まるで夢のようだ。

あの時、なぜ、精密検査を要求しなかつたんだろう。でも今更、過去を嘆いても事態は良くなるらない。それより、前をしっかりと向かなきゃ……ハツと我に帰ると「治療方法はいくつがあるわよ」という医者の声が聞こえる。まだ、道はのこされていたのだ。完治がだめなら、せめて共存できるよう、チャレンジしてきたい。

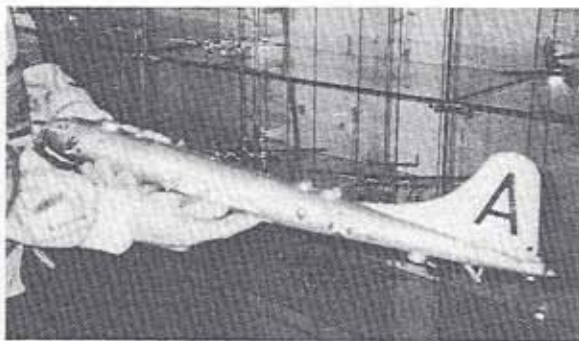
参考ホームページ

<http://achieve.atoronto.ca/sadako/>

病歴 1995年に乳ガン診断を受け手術。翌年キモセラピー（抗がん

剤治療）と放射線治療を受ける。

1999年2月再発転移確認され、現在治療中。



B29の胴体

カラーテレビから 飛行機のプラモデルへ

第二次大戦に活躍した 八百機種を集める

モントリオールで引退生活を送る辻俊雄さん



辻俊彦 富美子夫妻

晩秋のある日、ドーヴァル空港に近いお宅に辻さんご夫妻を訪問、自作のプラモデルを見せていただきながら、飛行機をみて分かる各国の国民性など、面白いお話をうかがった。

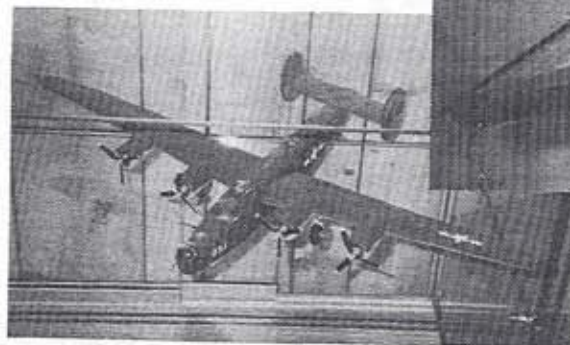
—何が動機で、飛行機プラモデルのコレクションを始めたのですか？

「子供の頃から飛行機が好きで、飛行機に関する戦記物をよく読んでいましたね。零（ゼロ）戦という飛行機があるでしょう。三菱の堀越二郎という人が設計した戦闘機なのですが、なぜ零戦というかというところ、皇紀二千五百年にあたる昭和十五年に正式採用となったからです。日本海軍で同じ年に採用になった機種はすべて零式なんとかいう名前がつけました。その一年前にできたものは「九九式」、一年後のものは「一式」というわけです。「ゼロ」という言葉は英語ですから、当時は「れいせん」と呼ばれていました。「ゼロ戦」と呼ばれるようになったのは戦後です。私は昭和十七年生まれですから、戦争中の飛行機を実際に見た記憶はありません。実物は仕事で出張した時、欧米の航空博物館で見たのが最初です。飛行機のモデルは子供の頃から作っていました。その頃はソリッドモデルといって、節の少ない萌（ほう）の木を大ざっぱに切ったものを買ってきて、ナイフで削って作るのですから、一機作るのが大変でした。現在のようにプラスチック・モデルを作り始めたのは会社に入ってからです。」

—零戦というのは非常に性能がよい

戦闘機だった、と聞いていますが、本当ですか？

「戦闘機というのは機関銃が機体に固定されていて前にしか撃てません。敵機を撃つには機体ごとその方向に向けるしかありません。したがってすばやく動いて、自分を敵の方向に向けられるかが、勝負の分かれ目になります。零戦はこの運動性が非常によかった。堀越技師の機体設計が優れていたのはもちろんですが、もうひとつの大きな秘密は、欧米の戦闘機に比べて非常に軽く作ってあったのです。軽かった理由はパイロットと燃料タンクを保護する防弾装置が全くなかったことにあります。開戦直後はこちらの数も多く、日本のパイロットは歴戦の猛者ばかりでしたから、零戦の軽快な運動性を利用して巧みに相手の後ろに回り込み、撃墜できた。しかし米軍は次々と防弾の完備した戦闘機を開発し、しかも操縦士の技量も向上してきたから撃墜し難くなってきた。いくら撃つても相手はなかなか墜ちない。一方日本側はいくら熟練したパイロットでも、ちょっとした隙をつかれて撃たれることもある。すると防弾のない零戦はあつげなく火をふいて墜ちていくといったことでした。」「零戦は昭和十七年の夏にアリューシャン方面でほとんど無傷で米軍の手に渡っています。この機体はアメリカ人パイロットにより、テストされましたが、その時のテストパイロットの言が零戦の特徴を端的に表しています。彼はこう言っています。『零戦は操縦性もいし素晴らしい飛行機だ。ただしスポーツとして乗



B24
B29より小型で戦前から
あった古い爆撃機



るならばである。これに乗って戦争せよ、と言われれば、まっぴらごめん蒙りたい。こんな防弾が全くない飛行機に乗るのは棺桶に乗るのと同じだ。」

「要するにパイロットの人命など考えなかつたんですね。気の毒なことです。でも、どうしてそんなに日本の開発が遅れたのですか？」

「結局は技術力そのものと物事にあたる姿勢の問題だと思います。欧米の戦闘機でも戦争前までは防弾は無いのが普通だったのです。いざ戦争が始まってみると、飛行機が撃墜されるのはパイロットか、燃料タンクのどちらかに弾が当たった時がほとんどであることが分かったのです。それでイギリスもドイツもすぐ防弾装置を付けるようになったのです。アメリカもヨーロッパ戦線の状況を研究していますから、右に倣いました。」

「日本は実はもっと前から分かっていました。昭和十二年頃から中国と戦争をしていましたからね。東京の防衛庁の資料室に保存されている当時の戦闘記録などを見ても防弾が必要であることが書かれています。それがすぐ実現しなかつたのは、日本のエンジンの馬力が無く、防弾を施すと機体が重くなり性能が低下するからです。そこで大和魂があればなんとかなるということで防弾のことは見て見ぬ振りをしたのです。前線のパイロットとしても防弾を付けてくれと言っていると、臆病者呼ばわりをされるので言い出せなかつたという事情もあります。相手が中国空軍である間はそれでもなんとかし

のいでいたのですが、アメリカが相手となると、飛行機の性能、パイロットの闘志、どれをとっても強大だったため、防弾のない日本機はばたばたと落とされました。軍当局は昭和十七年秋頃からあわてて防弾装置の開発をするよう指示したのですが、急に出来るわけもなく、質、量ともに圧倒的な米軍の前になすすべもなく、敗れていったというのが現実です。その意味では日本はアメリカの物量に負けたというのは正しくはありません。」

「アメリカは当時航空機の一般的な技術レベルは世界一流でしたが、何分、実践の経験のない悲しさ、大戦勃発時の戦闘機の性能はお世辞にもいいとは言えぬ状況でした。多数のアメリカ製戦闘機が援助としてイギリスに送られました。イギリスでテストした結果、ドイツのメッサーシュミットにはとても歯が立たないと回されているくらいです。しかしいったん、間違っていたことが分かった後のアメリカの改善のスピードには目を見張るものがあります。アメリカの歴史家も指摘していますが、日本人には事実を自分に都合のよいように解釈して、具合の悪いことは見て見ぬ振りをする性癖があります。これは現代にも通じる話で社会の改善がなかなか進まないのも、こういう性癖が陰を落としているといつてよいでしょう。」

「アメリカが次々と新鋭機を送り込んでくるのに対して、日本がいつまでも零戦に頼らざるを得なかつたのは、後続機種の開発が進まなかつたからです。ただでさえ、開発人員が不足しているところに、前線から機

関銃弾を増やせとか、もっとスピードを上げてくれだとかの要求がひっきりなしにやって来るのです。その都度新機種の設計の手を止めて対処せざるを得なかつたわけです。」

「成る程、その場その場のことで手いっぱいだったんですね。」

「今でも変わりませんよ。その国民性は。私の日立時代にも現在販売中のモデルについて、現場のセールスからひっきりなしになにか要求して来るのです。その度に新しい機種的设计を中断して、対応しなければならなかつたんですから。」

「単というのもありましたね。どんな飛行機だったのですか？」

「あれは陸軍の戦闘機です。零戦が出来た翌年の昭和十六年に中島飛行機という会社を作りました。零戦は海軍です。」

「空軍はなかつたわけですね。」

「そうです。陸軍航空隊と海軍航空隊に分かれていました。これはアメリカも同様です。空軍が出来たのは戦後です。日本の陸軍と海軍では強烈なセクト意識があつて、たとえば零戦と隼は性能も性格も似たり寄つたりの戦闘機ですが、陸軍と海軍で別々に開発するのです。共同開発なんか思いも寄らなかつたみたいですね。また中島でも三菱でも陸軍機と海軍機の両方を作っていました。同じ会社内でありながら陸軍機を作っている工場と海軍機の工場間ではネジ一本に至るまで流用は許されなかつたのです。また機関銃の弾なども陸軍と海軍では仕様が違つて

いて、陸軍の飛行機が海軍の基地に不時着しても機関銃弾の補充が出来ないということもありました。極めつけは、陸軍機と海軍機とは、アクセルレバーを引く方向が反対だったことです。」

—まさか・・・海軍の航空兵が陸軍の飛行機に乗らなくてはならないような非常事態が生じた場合危ないではないですか・・・

「これには理由があります。飛行機の創世時代、陸軍はフランスから技術者を招いて学んだのに対し、海軍はイギリスに教えを請うたのです。その違いがそのまま残ってしまったというわけです。日本の中で東と西で電気のサイクル数が異なるようなものですね。効率という面ではもちろんどちらかに統一した方がいいにきまっていますが、どちらも面子の問題がありますから、実現不可能でした。効率や利害より面子が優先するの日本社会の特徴ですね。」

「飛行機の歴史を調べていて面白いのは、各国の国民性がよく分かることです。先の防弾の話もそうですが、日本人は現実を直視することを避け、教条的に対処しようとする傾向があります。理屈の上では必要であるというだけで、戦闘機はもちろん、爆撃機、偵察機などありとあらゆる種類の飛行機を総花的に開発しようとしています。その結果、乏しい開発要員がさらに分散され、結局どれもものにならないということになってしまふのです。開戦当初零戦に痛めつけられた米軍が、戦争の鍵は戦闘機にありと気付いて他の種類の開発をすべて止めて、戦闘機に集

中したことや、空軍の任務は地上軍支援にありとして、開発の全力を地上攻撃機とそれを擁護する戦闘機に注ぎ込んだソ連とは大違いです。」

—お話をうかがうと日本軍はまるで幻想の中で戦争をしていたみたいですね。とても考えられないことです。ナチ・ドイツの飛行機は性能がよかったですか？

「当時のドイツは飛行機はもちろん、エンジン、機関銃、レーダーなどあらゆる部門で世界一流でした。戦後ドイツを占領したアメリカ、ソ連などが争ってドイツの技術を持ち帰りましたが、残念ながら日本にはあまりそういうものは無かったようです。」

「イギリスとドイツの比較で面白いことがあります。ドイツ人は日本人と似たところがあつて、機械そのものに完璧を期そうとするのです。航空機の任務は偵察、爆撃、その他いろいろありますが、ドイツ人はそれぞれの目的に合わせてベストな飛行機を設計しようとしています。したがって開発する品種は多くなりません。一方、イギリスはひとついい飛行機が出来ると、これを本来の目的以外にも流用しようとしています。当然違う目的に使うにはいろいろ不都合が生じるのですが、そこは運用でカバーしてしまうのです。」

「飛行機の話から少しはずれますが大戦中に開発された技術で、非常に重要なものにレーダーがあります。レーダー技術は当初ドイツがリードしていました。ところがドイツ人は完璧なものを作ろうとして技

術的に凝りすぎたのです。撃墜されたイギリス機から捕獲したレーダー装置を見て、ドイツの技術者はイギリスの技術のお粗末さを馬鹿にするわけです。ところが性能の悪いレーダーを駆使して、実際に戦果を挙げたのはイギリスの方なのです。ちょうどノモンハンで、ソ連のBT戦車を見て、その粗雑な作りを笑った日本人と似ています。現実とは承知の通り日本軍はソ連の戦車軍に木っ端微塵に粉砕されました。」

—ソ連はどうだったのですか？

「ソ連の航空機は西欧の水準からみて荒っぽい作りですが、とにかく実用になればそれでよいと割り切っていたようです。たとえば航空機設計の常識を破つて、機体の重要部分をすべて鋼鉄板で作ったイリュージン地上攻撃機がその例です。」

第二次大戦中に敵味方に分かれて闘った飛行機は約八百機種に及んでいる。辻さんのところには出来上がったもの、これから組み立てるものを含めて、六百機種のパラモデルが今手元にある。

ブラモデル作りと並行して、辻さんは対日戦争を闘った米軍パイロットの何人かにインタビューして来た。米国側から見た零戦の評価について調べるためである。

「彼らから話を聞いて、米軍がパイロットの命を救うことにプライオリティをおいているのがよくわかりました。たとえば撃墜されてパラシュート降下したパイロットを救出するため、空戦が予想される海域にはあらかじめ潜水艦を何隻か配置してお

いたり、救助専門の航空部隊があつて、戦闘後一週間くらいは海上を漂流しているパイロットを求めて捜索を続けるのです。また海上に不時着した飛行機からの脱出訓練を定期的に実施するのもそのひとつです。」

第二次大戦のパイロットは存命する人が現在ではほとんどいなくなつてしまい、生き残っている人を探して、訪ねるのは難しくなつてきているという。サンディエゴにいた時、カルフォルニアで引退している人を何人か訪ねることができた。これも一つのプロジェクトで、何らかの形で記録として残しておきたいそう。

地下室の壁面のガラスケースの中に完成したブラモデルが並んでいる。実物の七十二の分の一だそうである。倉庫にはこれから作るブラモデル材料のケースがいっぱい。日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、ソ連、イタリア、フランスなど戦争の主役となつた国はもちろん、オランダ、ポーランド、チェコスロバキア、ベルギー、ユーゴスラビアなど小国の飛行機もある。

エンジニアらしい情熱を持って、第二次大戦の飛行機の歴史について語る辻さんの話は尽きない。目下の最大の心配は今、組み立てているベースから計算すると、死ぬまでに全部完成しそうなことだそう。



パブリック・スピーチは怖くない

後藤 順子



カナダ人の三人に一人は、パブリック・スピーチに恐怖感を持っていると統計に出ているそうですが、最近、このトレーニングを週二回、約一ヶ月間に渡りThe Institute of Holistic Nutritionで受ける事が出来たので、ここに学んだ極意を紹介致します。

クラスは先生が一人に生徒が七人、先生の本職は、裁判官で、若い時はラジオのディスク・ジョッキーをやっていたそうで、ロックン・ロールが大好きという不思議なキャラクターでありました。クラスは、いつも五分間の瞑想で始まります。「個性とは、学歴や会社の地位や国籍や人種など過去から現在への経過ではなく、今、自分が何をして、これから何をしようとしているかで決まる。大切なのは、いかに自分自身に忠実であるかである。」という話があり、生徒は一人ずつ前へ出て数分間、他の人の視線に耐える。次に袋の中から選んだ品物について、即座に話をする事から始まった。

二回目のクラスからは、出された課題に従って十分間のスピーチをする事になる。最初の課題は「説得の話法」で自分が最も情熱を持って話せる話題を選ぶ。スピーチの際は原稿を読んでも、まる暗記でもいいけない。自分の言葉で、頭から話すのではなく、心から話す事。まず、聴衆の前に出たとき、そこにいる人達のエネルギーを受け入れて、天から自分の頭上に降りてくるエネルギーを感じた時、静かに話し始める事であった。私は、トップ・パターだったので他の生徒がどういふ風に話すのか全く分からない。自分を信じてやるしかないと言った前にお話します。しかし、私の英語は第二外国語な

ので、皆さんと少し、違う言い方をするかも知れませんが、発音も、違うかも知れませんが、暫く我慢して、聞いて下さい。」と始めた。「今のマギーは二番目の犬で、最初のマギーは、私達がカルガリーに住んでいる時、アパートで犬を飼えないと分かっていたのに、偶然、ペットショップで見つけた子犬から目が離せなくなり、買ってしまった。隠して三週間程飼っていたが、ついにアパートの管理人に見つかって、犬を飼うのなら出ていく様に勧告された。当時、引越越すお金が無かったので、犬を諦め、よそにあげた。しかし、マギーが居なくなつた夜、私は犬がいなくて寂しくて我慢出来ないと思いついて泣いて夫を困らせた。その翌日、夫がこのアパートを出て、新しいマギーを飼おうと決めてくれて、新聞のペット欄で見つけて買ったのが、今のマギーです。」と話しながらみんなを見ると、目が輝き、身を乗り出して聞いている。「マギー」とはこの十二年間、苦しい時も楽しい時もいつも一緒に、お互いの思いは、言葉を越えて理解出来るようになりました。マギーは七年前に皮膚癌になり、何度も手術を受ましたが、医者からはこれ以上何も出来ないと言われた。しかし、私は、マギーが苦しんだり、死ぬ事が耐えられないので、何とか助ける方法はないかと探した末、赤霊茸を煎じて飲ませ始めた。現在では、普通の犬と同様、よく食べ、よく走る幸せな犬になりました。先日、友人が末期の子宮癌である事が分かり、他の人は花やカードを送ったが、私は、マギーが飲んでいるのと同じ赤霊茸をあげた。その友人が化学療法の副作用で、頭毛が無くなり、カツラを被っていたが、それ以外は、元気で気分が良いとの事で、先日会社まで訪ねてくれて、私は、「良かったね。」と彼女の肩を抱きました。これで私の話を終わります。」という話を終えると、教室の中は、一瞬、水を打ったように、静かになった。そして、次の瞬間、拍手がどつと押し寄せた。私の話は受けたのだ。気が付くと、泣いている人までいるではないか。私も話している途中で、英語で話している事を忘れていた。先生のコメントは「私達は、あなたと一緒にカルガリーのペットショップに行つたし、子犬の暖かさを感じました。」であった。心から

話すという事はこういう事だったのかと改めて気が付く。作つた自分や話題では、人は感動しないのだと言ふことを理解した。

第二の課題は、「売り込みの話法」であった。私は、夫の発音が、どのようにモリガナで改善されたかという話をして、十点満点を獲得。クラス・メイトの中には、アルコール中毒からの再生の話をする人や子供の話を人などいたが、共通して、素直で飾らない自分を語る事で、普段のつき合ひでは、知らなかつた心の内面をお互いに知る事が出来たので、スピーチの練習以上に興味深かった。

第三の課題は「料理を作りながら人前で話す」与えられた時間は十五分。始めの頃、とてもこわいわ、話した私達も、この頃から、自身たつぷりの、話方に変わつた。私は、稲荷寿司を作つた。以前、稲荷寿司には、マンゴが合う聞いていたので、稲荷を逆さにして、マンゴのトッピングをする。寿司を食べるのは、初めてという人にも好まれ早速、家で試しに作つたという人もいた。ここでは、話方の他に、手順や、獨創性、髪型や服装に及ぶ評価がされた。

最後の課題は「教える話法」である。私は、薬用人参の効果と選び方に付き話す予定である。

このコースを受けて、みんなの顔が生き生きして、普段なら過敏で神経質な人も、明るく大らかに振る舞う様になった。自分を素直にだしても許される環境は、心の健康にとっても良いのだろう。更に、みんな綺麗になった。なぜなら、着ている服のコーデインシオンやアクセサリーの付け方や姿勢や歩き方まで、評価の対象に入るからである。私にとつて良かった事は、私の英語でも理解して貰えるという自信と、スピーチは怖くない、むしろ、楽しい事であると思えるようになった事である。

少々自分の体に気に入らぬ箇所があつても、自分の容姿に自信を持ち、持っている服の中で一番良いものを着て、聴衆の前ではゆつくり、優雅に動く、肩を後ろに引き、胸をはり、顎を引いて、微笑。さあ、あなたのスピーチが始まります。

一応、目覚まし時計はかけておくが、まずお世話になったことがない。明け方、ベッドの上で寝返りを打っただけで、ドアの外に待っている猫のキャシーが「起きろ、起きろ」とばかり騒ぎだすのだ。ニヤニヤでもない、ミヤオミヤオでもない。十四才。人間で言えば、九十才以上になるというのにウワン、ウワンと赤ん坊が泣きわめくごとく、とぎれなく叫ぶのだ。年をとって、それがますますひどくなってきた。人が聞いたらどう考えてもかわいいというより、うるさいと思うような鳴き方だ。――

でも私は慣れた。しばらく前まで、とにかくその泣き声をやめて欲しくて、私は起きるなりすぐにえさをやり、ブラシをかけてやり、トイレの掃除をした。――でも、ある朝やめた。これからずっとこの猫と私の二人暮らしが続くのなら、うるさいから早くこれだけしてしまおうと思っていたら、気持ちよく生活できない。私が主導権をとって、彼女に私のルールを理解してもらわなければと気がついた。世話をするのは一方的に私であって、猫に世話をしてもらうことはないのだから。

そこで私は「ママはコーヒーを入れますから、静かにして待ちなさい。」と一喝し、自分のためのコーヒーをゆつくりと入れる。そしてゆつくり、二口、三口飲んでから、おもむろに「お待ちどうさま」と振り向く。
はじめはわめき続けていたが、だんだん分かってきたのか、フーンフーンと小さくはな声をならしながら、もちやんと待っている。器にはまだたくさんドライフードが残っているから、空腹で騒ぐわけではないらしい。

私はドライフードを新しくし、その上にかつおぶしをかける。ある年の夏、日本から来ていた母が、「いくらカナダ生まれの猫だって、かつおぶしが嫌いな猫なんていませんよ。」

恨んだが、生まれて初めて食べたかつおぶしに狂喜したキャシーはそれ以来、かつおぶしなしにはいられなくなりました。先日、日本食品店で、さばぶしがあつたので、この方が安いわと思いい買ってきたら、フンと

ゆきぶし 想いの中で



シヤム猫のキャシー

長井東美

といて、かつおぶしを与えたのが始まりで、かつおぶしが大好物になってしまった。

「日本とちがつてその辺のスーパーでかつおぶしが買えるわけじゃないのよ。変な習慣つけないで。」と母を

鼻を上げ、さばではいけない、と言う。仕方ないから又かつおぶしを買いに走った。

食物といえば、高齢なので、ここ何年かドライフードは「アダルトライト」をやっていたが、最近その会社

が「シニア」というのを出した。実際シニアなのだから、この方がいいに決まっていると思つたが、うるさいかも知れないと迷っていたら、ペットショップのオニイサンが「プロテインの量が少し多いが、味はアダルトライトと全然変わらない。」とまるで食べたことがあるように自信を持って言うので、買って来たがやはりだめだった。どうも袋の真ん中に大きく書かれたシニアという文字が気に入らなかつたらしい。

普通、動物は、食べている時、体を触られるのをいやがると思うが、おしやれな彼女は食べている間、私にブラシをかけると言う。Cassie is a pretty girlと歌いながら、私はブラシを頭から尻尾の先まで動かしていく。Cassie is an old ladyと鼻歌まじりに言ってみたら、ムツとして頭を上げた。

彼女は私達がトロントに住んでいた頃、隣のリクソン家から養女に来た。リクソン一家にはシヤムが六匹もいたが、キャシーは極端におく病でいつもおどおどして他の猫と遊べない上、食事もまともに出来ない自閉症だという。すでに二才になっていたが、信じられないほど小さく、カサンドラという素敵な名前とともにやって来た。途中から名前を変えているのはかわいそうだけれど、日本人には呼びにくい。それに初めて健康診断でドクターに連れていったら、待合室で「カサンドラ ナガイ」と呼ばれ、はじめ誰のことか分からず、「あつ、うちの猫でした。」とあわてた。

それで短くCassieと呼ぶことにし

九九年末ニューヨークで

見たい聴きたい

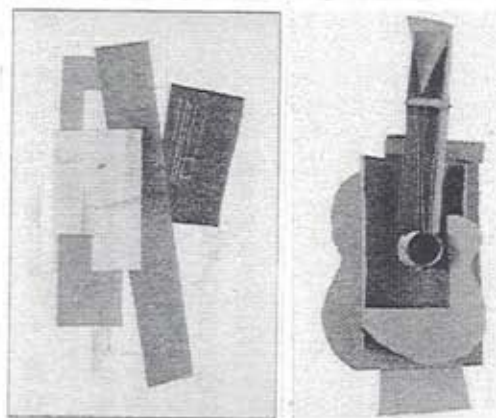
青柳俊明

とんぼがえりながら、ニューヨークへ出掛けた。十一月二七日土曜の朝出て、十二月一日水曜の早朝帰ってくるという強引スケジュール。それでも気分は大充実、やはりあの街へ出掛けると、私は充電されるといふか、内側から沸き上がるものを感じる。

今回はNYの友人が切符を上手に手配してくれて、売り切れ公演ばかりを観て歩く贅沢をさせてもらった。土曜には芝居を二本：Sheelagh Stephenson 作「An Experiment with an Air Pump」J Donald Margulies 作「Dinner with Friends」、日曜は「トサート」を二本、月曜はこれが最大の眼目：メトロポリタン・オペラの「トリスタンとイゾルデ」新演出・午後七時開演で終演は真夜中過ぎという長丁場。それに加えて、火曜にもミュージカル「マリー・クリステイヌ」(黒人女性版のメデアの物語)を観てきた。



ニューヨーク近代美術館三つの展示会のプロッシュア



ニューヨーク近代美術館 9つのギターより
左がブラック、右がピカソ

近代美術館とホイットニー

今度のニューヨークは、美術館も素晴らしい、ニューヨーク近代美術館 MOMA (ニューヨーク近代美術館) が「近代の誕生」展で、館蔵品ばかりを全館4フロアを使って壮大に再構成、「人物 people」「事物 things」「場 places」の三つの展示会からなる、1880〜1920年の特集。これは、今世紀の大回顧展連続企画の第一弾。もの凄いスケールで、文字通り圧倒的、半日で踏破するのはかなりの覚悟がいる。展示ポリシーも、年代順や作家別にはしない、対象別の切り口が新鮮だ。例えば、ギターを描いたり立体に創ったピカソやブラックの作品が小コーナーにまとめられている。人物の部の入口、水浴びする人々のコーナーには、海水浴場の男性立像、それが伝説の舞人ニジンスキーの艶麗な姿だつたりする。飛行機が登場し、写真作品もふんだんに展示され、我が世紀の何たるかを文化論的に見せてくれる。



ヨーコ・オノ 1964年の「カット・ピース」
ホイットニー美術館カタログより

ホイットニー美術館も、今世紀アメリカ美術の大回顧展を開催、その後半1950〜2000年を、こちらも全館を使った超特大企画、美術品を見せるだけではない幅の広さだ。例えば、60年代のビデオ映像で、ヨーコ・オノの「作品」を見せていたりする。舞台上に横座りして一点凝視、微動だにしない彼女の衣服を、観客が次々にハサミで切り刻んでいく。各時代の文化状況を語るパネルも充実している。現在進行形の、検閲や文化抑圧の動きに対しても警鐘を、はつきりと鳴らし、レーガン就任から説きおこして、日本の文化庁に当たる文化助成団体 National Endowment for the Arts を、保守勢力や宗教団体が目の敵にして、潰そうとさえしている動き等、背筋が寒くなる「歴史」(と呼ぶにはあまりにも最近のことだが)が整理されている。いよいよ、2000年、20世紀が締めくくられていく時、21世紀に向けて整理しようという回顧の動き。それは本来後ろ向き動きなはずなのだが、それにすら、何か熱い

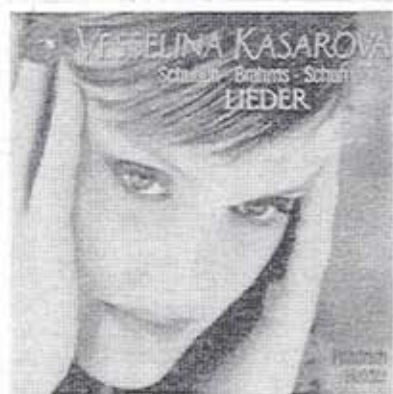
ものがあるのは、さすがにニューヨークだ。

ウォーホールの最後の晩餐

アンディ・ウォーホールの「最後の晩餐」の大連作展を、ソーホーにあるグッゲンハイム美術館別館で観ることができた。ダ・ビンチの名作をモチーフにして、何十畳もあるうかという壮大な規模の作品群が並ぶ。ソーホーでは、素敵な、デリというかグルメ相手のスーパーマーケットのような所を覗いて、大満足。そこで季節柄流れた「くるみ割り人形」の「花のワルツ」が、麗しく並べられた食品や野菜にえらくびつたりで、思わずニヤニヤと、上がりそうな足をオットットと、押さえ込んだような次第。

カサローヴァとキルシュラガー、二人のドイツ系メソ

日曜のコンサート二本は、いずれもリンカーン・センター内の室内楽ホールで。午後にカサローヴァのドイツ歌曲のリサイタル、続いて夜が、キルシュラガーが管弦楽伴奏で歌うマラーの歌曲。国際的な舞台で次代を担うドイツ系メソ、双方ともにズボン役が得意で、「薔薇の騎士」のオクタヴィアンで売っている二人が、パトルを繰り広げたという、非常にニューヨークらしいハブニングだ。両演奏会共に付き合ってくれたオペラ・ファンと友人と私の軍配は、カサローヴァに力を込めて上げられた。高音に上りつめながら、音量を



ヴェレリナ・カサローヴァ



アンジェリカ・キルシュラガー

絞るだけでなく音質を軽くするというなかなか至難のコントロールを駆使して、心にしみる歌を聴かせる。若きプリマに拍手。キルシュラガーは、どうも堅くて表面的に私には聞こえたのだが、二人とも、CDが開始しているの、聴き比べてみていただきたい。

トリスタンとイゾルデを堪能

私の目の黒いうちに、楽劇「トリスタンとイゾルデ」がメトロポリタン

・オペラで新演出されることはもうあるまいと思つて出掛けた旅だった。ワグナーの愛と官能の不朽の名作は、大歌劇団にとつても怖い作品で、メットは八四年以来、新制作を出していない。十一月二十二日初日の期待に違わぬ成功は、ニューヨーク・タイムスはじめ各紙絶賛、年末までの公演は完売の盛況だ。生の劇場での官能を満喫させるのは、さすがメットだ。生きてよかつた！

レヴァインは、ワグナーではゆつたりとしたテンポで定評があるが、今回の「トリスタンとイゾルデ」もたいへんなスロー、それでいて、緊張感が欠けるところは全くない立派な指揮ぶり。演出家ディーター・ドーンが、クジラのような超太めの恋人二人を絶対に抱き合わせず、手のひらを合わせるくらいに所までしか触らせない、愛の二重唱は二人ともほぼ完全なシルエツト状態等、実に賢く、目に優しいオペラになっていた。



ベン・ヘップナー

主役のトリスタンを歌ったベン・ヘップナーは、カナダ人で、その昔、彼

の修業時代はトロントのオペラ団の若手養成所で同僚だった。私とは、実は同じ歳。彼の方は、今や、理想的なほどのヘルデン・テノールに成長して、世界の超一流所のワグナー公演を総なめにしている。彼の若い頃のサイレンのような一本調子の音色や音楽が、実は私は嫌いで、ずっと聴くのを遠慮していたのだが、あまりの変身ぶりに、賞賛と共に、何かこう、呆れてしまう。

時はどんどん過ぎていく。今年もまた、クリスマス・デコレーションの美しい
ニューヨーク。二十世紀も終わってしまふ。変わらないものって、そんなに無いのじゃないか？じゃあ、どう変わるか？どう変えるか？焦ってみても仕方がないのだが…。
(国際交流基金トロント日本文化センター)

メトロポリタン歌劇場の「トリスタンとイゾルデ」は、
1999年12月18日(土)12:30 からC
BCラジオで生中継される。

ニューヨーク近代美術館 MOMA
「Modern Starts (近代の誕生)」展
「人物 People」は、二千年二月一日まで、「事物 Things」と「場 Places」は同三月十四日まで開催。

ホイットニー美術館今世紀アメリカ
美術回顧展1950〜2000年
二千年二月十三日まで開催。ウェブ
サイトも充実 www.whitney.org

不老長寿の薬を探して

その九

粗食の勧め



梅干しとちりめんじゃこ

ひじき、わかめ、海苔、昆布など
海藻類を揃えて

後藤順子

スーパーマーケットには選択に困るほど食料品が溢れ、街を歩けば予算と好みに応じたレストランが立ち並び、多くの人達は太り過ぎを気にしてダイエットをしなくてはと考えています。一方、花粉症や食品アレルギーや学習困難を訴える子供達が増え、成人性の糖尿病や心臓病や癌の患者の若年層化が心配されています。つい最近までは、グルメブームで、フレンチやイタリアンやチャイニーズ等、誰もが美食の追求をして、私達の食生活は過去に較べてずっと豊かになったと考えてきましたが、本当に私達の食生活は豊かになったのでしょうか。心と体の健康のために、何を食べれば良いのか、今こそ基本的に見直す時期が来たようです。

「食生活の問題点」

現代人はある意味で皆栄養失調であると云われています。日常食べている米や麺類、パンやパスタや砂糖は、意識して選ばないとまっ白に精製され、本来あるべきビタミンB類やミネラルが失われ、私達はでんぷんだけを食べる事になります。これでは食べた物が体の中でエネルギーにうまく変換されず、急激に血糖値を上げ、インシュリンを枯渇させ、糖尿病の原因や、心臓病の原因になります。更に、頭の神経伝達をコントロールするビタミンB類やミネラル類が不足すると集中力がない学習困難な子供になります。又、北米の五大湖周辺の土壌は、沃素が不足していると言わ

れており、魚や海藻などを食べない肉とポテト中心の人達は、十分な沃素を食事から取る事が出来ず、甲状腺機能低下症となり、この地方の風土病とも言われています。精製された食品は植物繊維も不足していますので、常に便秘状態で、毒物の排泄が十分できず、ミネラル不足と重なって、鉛や水銀や銅等の重金属が体に蓄積する悪循環となり、癌の原因にもなります。最後に、加工食品には、食品添加物が沢山入れられたり、水道水は、フッ素や塩素が添加され、食品の農薬等のこれら不純物の過剰の摂取が状態を更に悪くしています。

「食生活の改善十箇条」

- 一、ご飯をしっかりと食べる。
- 二、味噌や漬け物等の発酵食品を常に献立に入れる。
- 三、パンの常食を止める
- 四、液体でカロリーを取らない。甘いジュースや清涼飲料やスポーツドリンクをやめて、飲み物は、水や番茶や麦茶にする。
- 五、分つき米や玄米のご飯を食べる。
- 六、季節のローカルで採れた野菜を中心にする。
- 七、動物性食品は減らし、取る時は、魚介類とたまに卵を取る。
- 八、天ぷらなど油を加熱する献立を最小限に止める。
- 九、オーガニックなど、出来るだけ安全な食品を選ぶ。レトルト食品や半加工食品をさける。
- 十、色どりがよく、料理してくれた人に感謝して、楽しく食べる。

日本の長寿の人達は地方に住み、若い頃から体を動かしてよく働き、家の畑で取れた季節の野菜を食べ、余った野菜は漬け物や干物にして保存し、味噌や醤油も自家製。鰯や鯖等の庶民の魚や海藻を食べていた。このアイデアは、アメリカの日系人ジョージ大沢の発案した、マクロバイオチックの食事療法の基本となり、北米では、癌を治す食事療法として、沢山の信奉者を集めています。

ここに、日本の風土から生まれた伝統的な心と体に良い食事の献立を紹介します。

冬の食卓(二人分)

【朝(ご飯)】

★小豆(ご飯と白菜の漬け物と大根とあぶらげの味噌汁)
材料 玄米二合、小豆一カップ、ゴマ塩

*小豆(ご飯)

- 一、玄米と小豆はよく水洗いし、十倍の水につけて一晩置く。
- 二、圧力釜に玄米と小豆を入れ、強火にかける。(大きい方のストープに置く。)
- 三、蒸気が吹き出したら、中火に落とす。そのまま二十分炊く。蒸気が出なくなると火を止めて、暫く置き、空気を入れてから、蓋を明ける。ゴマ塩をふって食べる。

*大根と油揚げの味噌汁

材料 油揚げ半枚、大根 二、三センチ、豆味噌大匙一

一、油揚げに熱湯をかけて油抜きし、大根とともに短冊切りにする。

二、鍋にだしを入れて煮立て、大根と油揚げをひと煮立して大根が柔らかくなつたら、味噌を溶き入れます。

玄米はビタミンやミネラル、植物繊維が多く含まれています。小豆を加えることで、玄米の風味が押さえられて食べやすくなります。

【昼ご飯】

★おにぎり(朝の玄米小豆ご飯)、はりはり漬け、番茶。

*はりはり漬け

材料 切り干し大根五十g、昆布、赤唐辛子少々、酢大匙

四、酒、黒砂糖、醤油各大匙二杯。

一、切り干し大根はさつともみ洗いして、水気を絞り、ざくざく切る。

昆布は細切り。

二、小鍋に調味料と昆布、赤唐辛子の輪切りを合わせ、ひと煮立ちさせます。冷めたら切り干し大根を加えて、そのまま一晩おく。

切り干し大根は、生の大根より繊維やミネラルが豊富です。昆布の入ったはりはり漬けにすると、栄養も歯ごたえも良くなります。

【晩ご飯】

★小豆ご飯、かきと豆腐の味噌

煮、きんぴらゴボウ、大根と人参のぬか漬け



*かきと豆腐の味噌

材料 かき百五十グラム 豆腐半丁、豆味噌、みりん各大匙一、だし半カップ、三温糖大匙半分、ゆずの皮千切り、塩。

一、かきは塩水の中でささつとふり洗いで、水気を切る。

二、豆腐は角切り、青ねぎは三センチの長さに切る。

三、鍋に甘味噌を入れ、みりん和三温糖を加えて混ぜ、だしを少しずつ加えてなめらかにのぼし、火にかけてます。

四、煮立ったら豆腐とかきを入れ中火より弱めの火加減で四、五分煮てから、青ネギも加えてひと煮立ちさせます。器に盛ってユズをのせます。

*きんぴらゴボウ

材料 ゴボウ三分の一本、人参半本、赤とうがらし一本、煮汁(ゴマ油大匙一、だし半カップ、酒、みりん、醤油各大匙一) 酢。

一、ゴボウは皮をこそげて五センチの長さの細切りにし、酢水にさらす。

二、人参は細切りに、赤唐辛子は種を取って小口切りにする。

三、鍋にゴマ油を加熱して、ゴボウ、赤唐辛子、人参の順に炒める。だしを加えて、酒とみりんを加え、汁けがほとんどなくなるまで炒め煮にする。

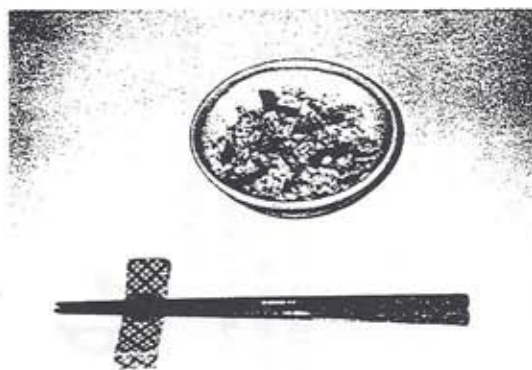
四、醤油をたらりと回し入れてひと煮し、器に盛る。

ぶりぶりのかきの食感のかきの味噌煮に、しゃきしゃきのきんぴらがぴったりです。

【ご飯のバリエーション】

*梅じやこ飯

材料 七分つき米二合、梅干し二個、青じその葉三枚、ちりめんじやこ、三分の二カップ、酒大匙一



【漬け物バリエーション】

*白菜の七味漬

材料 白菜三百グラム、万能ネギ八本、七味唐辛子、小匙四分の一、ゆずの皮、シヨウガ、にんにくのみじん切り各小匙三分の一、塩

一、白菜は一センチ幅に、万能ネギは一センチ長さに切りボウルに入れ、塩大匙半分を混ぜ、皿二枚の重石をのせて、一〜二時間置く。

二、軽く絞り、七味唐辛子とゆずの皮、シヨウガ、にんにくも入れ、卓上漬け物器で一日漬ける。

*キヤベツの差し水漬

材料 キヤベツ大半個、ミヨウガ三個、赤唐辛子一本、ユズの皮半個分、三温糖(未精製の砂糖、ヘルスフード店にあります)、塩各大匙一、酢大匙二

一、キヤベツは芯をつけたまま縦四分等にし、水洗いして水気をきる。ミヨウガは縦半分に切り、昆布は五センチの長さで一センチ幅くらいに切る。

二、赤唐辛子は種を取り、ユズの皮は適当に切る。

三、食卓用漬け物器に一をいれ、ユズ、赤唐辛子、酢、水半カップを入れ、約二時間の重石をのせて冷蔵庫に三〜四日置く。

*かぶらのあちら漬

材料 かぶ四個、人参五センチ、昆布四センチ、赤唐辛子一本、塩小匙一、三温糖大匙一

一、かぶは皮を剥いて薄い銀杏切りにし、人参は皮を剥いて千切りにする。

二、昆布は細切り、赤唐辛子は種を取って小口切りにする。

三、かぶと人参に塩をまぶし、しんなりしたら絞ってポリ袋に入れ、酢と三温糖を混ぜて冷蔵庫で半日漬ける。

【おやつ】

おにぎりがベストチョイスで、蒸かしいもや、揚げていない煎餅や生の人参がお勧め。アイスクリームなどの乳製品や洋菓子は避ける事。おなか为空いていない時に子供におやつはやらない。

【外食メニュー】

寿司や蕎麦や和食弁当がお勧め。絶対に避けるべきは、ハンバーガー、フライドチキン、ドーナツ、ホットドック。



【自家製だしの素】

材料 煮干し一カップ、黒ゴマ一カップ、ワカメ適当。

煮干しの頭とはらわたを取り除いて、フライパンで黒ゴマとワカメと一緒に炒りする。少しさめたら、ミキサーで粉状にする。冷蔵庫に保存。みそ汁のだしや、お好み焼きや、焼き飯にいれても美味しい。

ここにある献立は、かつて毎日この家庭でも食べていた何の変哲もない、普通のご飯とおかずで、あまりお金も掛からず、特別の道具や材料やスキルがなくても、その気になれば、誰にでも作れるものばかりです。又、パリエーションも、いくらでも自分で考えられます。しかし、この様な食事をすると、消化が良くて、お腹にもたれる事もなく精神的にも落ち着いて、気分がとても良くなり、仕事や学習の効果が上がります。西暦二千年と時代が大きく変わろうとしています。気分も新たに、あなたと家族の心と体の健康のために粗食を始められてはいかがでしょう。

参考文献

粗食のすすめ 幕内秀夫著 (ISBN4-492-04120-6) Staying Healthy with Nutrition, Elson M. Haas, MD, <http://www.macrobiotics.org/whatacro.html>

配達してくれるオーガニック食品の連絡先 1-877-223-0542, website: www.the-organic-farm.com

粗食メニュー アラカルト

★汁

冷やかした大豆をすり鉢で半すりし、大根、里イモ、人参、ゴボウ、こんにゃく、油揚げの身沢山の味噌汁を作ります。



★ピリカラこんにゃく

こんにゃくをちぎってフライパンか鍋でから炒りし、赤唐辛子少々を小口切りを散らし、醤油で味を調えます。

★とろろ汁ご飯

とろろ芋をすって、だしでとかし、玄米ご飯又は麦ご飯にかけて食べます。いくらでも食べられる。

★カボチャひじき

芯をくりぬき、種を出したカボチャの中に、いため煮したひじきを詰め、オーブンで焼き上げる。焼く時間はカボチャの大きさによるが、中型で三百五十度、約一時間から一時間半くらい。



ホールリジョン・メトロ・コンベンションセンター (第十三回)

トロント・メトロ・コンベンションセンター

年々盛んになるヘルス・ビジネス

世の中総じてヘルス指向、天然指向、ヘルスフード、民間療法へのビジネスはソフト、ハード共に年々盛んになる一方である。早く言っておくヘルスと名づけられ何でも売れそう。その矢先、トロント・メトロ・コンベンションセンターでホールライフ・エクスポ99が十一月末に三日間にわたって開かれ、連日満員の盛況という事で、ヘルス指向の友人に誘われて早速出かけた。

入場はフリー、これも大きな魅力だ。そのせいか、家族連れなど結構人が入っている。前日下見に来た友人の案内で、特色のあるブースを回る。

「イリドロジー (Iridology) ・クリニック」。その人の眼の光彩の出力で健康状態をはかる。眼の光彩はその時々の健康状態を反映し、身体の中の部分が悪いと判るそうである。

オーガニック・ファーム直結のナチュラル・フード専門のマクロ・スナック屋さんは非精製穀類を中心にした食品店。玄米飯の海苔巻きやパン、クッキー、ラムボールなどを売ったり試食させている。味はいまいち。毎日の食品摂取の構成は、非精製穀類五〇〜六〇%、野菜二五〜三〇%、スープ五〜十%、豆類と海藻五〜十%である。週に二、三回は魚や果物を食べても良いという。

たわし屋もあった。サハラ砂漠の特殊な草で作った垢擦りやタワシ類である。一個二十八ドルと良いお値段だが、皮膚の健康に見るからに良さそう。買おうかな、とかなり考えたが、風呂場の道具が増えるので止める。

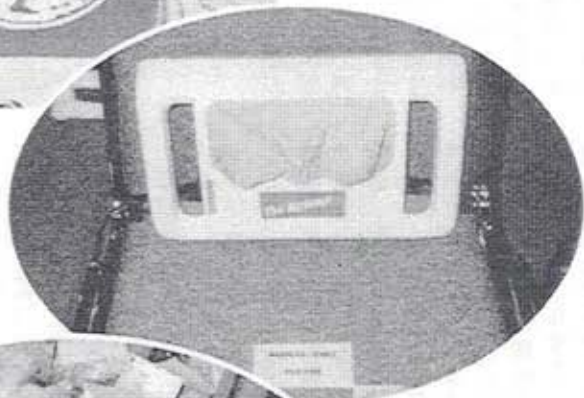
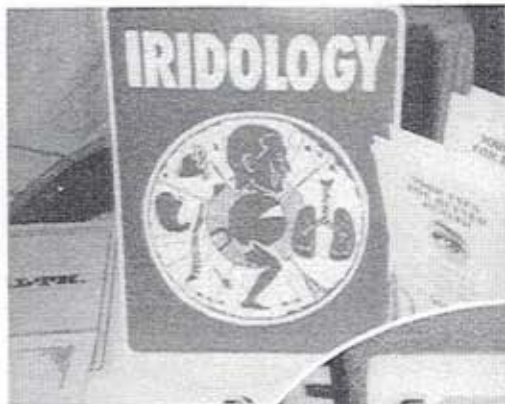
姿勢を正したり、背骨に良さそうな椅子もあった。矯正シート

姿勢を正したり、背骨に良さそうな椅子もあった。矯正シート

(OrthoSeat)は、背もたれが後方に斜角になっている椅子で、ちょっと後ろにひっくり返りそうだが、すわってみると気持ち良く、疲れない。ソファの上や床にじかに置いて、TVなど見るとき使うそう。もうひとつは椅子用の電動あんま器、こぶし状の玉が背骨をはさむ形で左右に二個ついていて、椅子の背に付け、背骨の上下に移動できる。百八十ドル、試してみると実に気持ちが良い。背骨に限らず、体のどこでも凝っている個所に当てたらよい。日本の肩たたきあんま椅子より移動が自由で、用途が広い。単純な仕

掛けにしては値段が高いので諦めたが、肩や首が凝ると買えばよかったと時々後悔。試しに十分間十ドルの首肩マッサージを受ける。コンピュータで最近首肩の凝りが激しいせいか、生ぬるく物足りなかつた。The Institution of Holistic Nutrition という自然食栄養学の専門学校もある。日本の宗教団体もブースを出していた。心のヘルスも必要なのである。

イリドロジーの目の光彩の説明



椅子用電動あんま器



サハラ産の草の垢擦り、タワシ



「オタマ」

最近のヒット商品

自立オタマ

「アラタッタ」

高中公男



日本とカナダでは、キッチンの広さも違うので、若干感じ方に違いはあるかも知れないが、キッチンで料理を作った経験のある人には、「オタマ」の存在の煩わしさがわかるはずだ。使った後の置き場所にこれほど迷う道具はほかにないからである。そのオタマに画期的なヒット商品が生まれた。貝印のオタマ「アラタッタ」がそれだ。

日本大手キッチン用品メーカーである貝印の商品開発本部によると、「オタマは、火にかけて鍋に入れたままで柄の部分で焦がしてしまったりとか、オタマについた汁でキッチンが汚れるなど、何かと使い勝手の悪い道具でした。それでも改良が加えられなかったのは、コストをかけても見返りが得られる製品ではなかったからです。」という。

オタマのメーカーは小さな会社が乱立している。機能の便利さを追求するよりは、ほどほどの実用性と低価格であることが重要だった。最近では、それにスタイルといった要素も加味されるようになってきたものの、

それでも高価なオタマを敢えて選ぶ向きは少なからう。そもそも金属製のオタマのルーツは欧米である。日本は伝統的に木製の平たい杓子を使っていた。欧米はスプーンなどをすくうので形は半円球に近い。それを浅くして味噌汁などをすくいやすくしたもののが現在のオタマなのである。

貝印商品開発本部によると、「オタマ立て」という製品は当社でも以前から作っていました。しよせんはキッチンに置き場所がなければだめ。今回こだわったのは、鍋の中の「自立」です。」という。「立たせる」という発想は、昨年あたりから話題の「パイアグラ」がヒントだという。こちらは「立つ」のがウリ、ならば「オタマも立たせてみよう」という遊び心が開発の始まりだったという。

立たせるためには底を平らにして、安定させる必要がある。そこで形は従来のような丸ではなく、ゴルフクラブのウッドのようなシルエツトになった。柄の角度にもかなり苦心したという。安定性を求めれば寝

かせた方がいいが、オタマとしてはなるべく直立の方が使いやすくなる。その兼ね合いが難しかったようだ。普通のオタマは皿（汁が入る部分）に柄をビス留めしたものが一般的だが、耐久性の点から今回は、それも改良してワンピース構造になった。また、柄が折れないためには、材質の厚みが二ミリ以上必要となる。しかし、その厚さだと、今度は重くて使いにくくなる。そこで、二ミリの薄さで二ミリの強度が出るように、ステンレスの加工法にも工夫が凝らされている。

「アラタッタ」には種類も多い。片手鍋、両手鍋、土鍋、寸胴鍋、バス、鍋などなど、サイズの違いを含めると、全部で十二種類のラインナップがある。使い勝手を考えて、形状やサイズも微妙に変えたという。ディスプレイ用のパッケージも店頭で目立つように料理写真を皿部分に付けてアピールするといった工夫が凝らされた。こうした工夫がヒットの要因となった。

実際に使ってみると、鍋の中で立つというのは本当に便利である。置き場所も考えずにすむし、煮立っても倒れることがない。しかも具の多い汁物も鍋からすくうのが楽で、汁を注ぐときも横からこぼれず、お椀やどんぶりにすんなり入る。立つだけでなく、オタマとしての機能もかなり優れたものである。

最近、閉塞感を強める日本にあって、ちょっとした発想の転換、遊び心は、かつての匠の技を蘇らせる重要な要素かも知れない。（拓殖大学アジア情報センター所長）

裏千家トント教室 新 宗楓 教室

8 Dallington Drive
Willowdale, Ontario
M2A 2G3

(416) 493-6776



山本博 絵画教室

- 墨絵・日本画・デッサン・水彩画・絵手紙の描き方
- 初歩から上級レベルまで楽しみながら学べます。
- 小人数のグループレッスン、出張ワークショップします。

水曜 夜 7時→10時

金曜 午後1時→3時

1月から第1、第3日曜の
午前10時→12時のクラスを
スタートします。

場所 178 Avenue Road (Gallery T.O.R.A.)
お問い合わせ・Tel/Fax(416)964-3985(Yamamoto)



もういくつ寝ると 西暦二千年

★聖徳太子の御陰？

妻は、帰国すると巨額をはたいて神戸の「占いの館」へ出向き、必ずと言っていいほど僕の事を探る。それによると出世はおろか、長生きも出来ないし、厄年というので最悪らしい。「何を言ってるんだ！。いつも医学らしい学問を勉強しているくせに、そんな事をよくまとも信じられるなあ」とかなり不機嫌に成ったが、残念ながら理論的には最後まで抵抗はできない。所詮、女の方が口の筋肉が発達しているのである。「宝塚にある有名な神社で厄祓いを受けろ」と言われたらしいが、そんな暇などないし資金も無い。結局、観光ついで清水寺の傍にある、名前ももう忘れた聖徳太子と関係のある？という寺で守りを三百円で買って妥協した。（嫌だねえ、非科学的！こんなので人生が左右するなら裁判官なんて要らないね！と思ったが）まあ、そのお守りが効いたのかどうかは判らないが、どうやら厄年は無事に、終わろうとしていた。

夏号で紹介した「ダメな上司をぶっ飛ばす方法」はうまく行き、（そのダメな上司は見事に左遷！）秋号の「ハゲ頭からの脱出」もどうやら成功して（それなりに格好が良くなってきた）しめしめ万事よし！「甲斐の山々々」と上機嫌で武田節でも謡いたい気分だった。

★ところが：恐怖の難病？
或る日曜日、いつものようにテニス

で過労し、寝る時あたりから局部が非常に痒くなってきた。次の朝、見ると真っ赤に爛れ、妻に見せると「ゲェー！それインキン・田虫とか言つて水虫と同じ白癬菌が感染したんやで！アホやなあ。近寄らんといてや！」と言う。（後で冷静に考えれば女が知っているような病気ではないのだが）「やばいネ、これは…、なんとかして治療せねば」と悩んだあげく「富山の薬売り」の〇×チンキとかいう水虫の置き薬を塗つてみた。結果は散々で敏感な皮膚は焼け爛れたようになり、痛くて我慢の限界に達した。緊急だと言つて医者に行き（当然ながら会社の同僚や上司には秘密）「もうダメです。道徳的に悪いことをした訳ではないのですが、どうやら、とても悪い病気に感染してしまつた様です。血液検査をしてベニシリンでも下さい。」と伝えたが、医者には全然、僕の苦悩を理解していない様子。「やっぱ、カナダの医者はダメだね、ここまで患者がヒントを与えてやつているのに…よほど勉強不足でヤブに違いない！」と不満な顔を覗かせていると、「ふん、感染？珍しいネ。見せてみい」と言う。恥ずかしいので、あえて太股だけ見せることにした。「こりゃ酷いね！」と言いながら観察している。誤診があつてはいけないと思ひ、正直に「本当は、もっと肝心な部分が最悪なんです。」と言つて再び「見せ



てみい！」と言われた。自分でも驚くほど惨めな姿になつてゐる。医者はしばらく観察してニヤつと笑つた。「これ、一体、何塗つたんや？」と聞かれ顔が青ざめてしまつたが、事実を伝える勇氣は無かつた。「これ…ただの乾燥肌や！この季節、同じ症状の患者は多いんや。」と続けた。「二〜三日たつても直らんかつたら又、来なさい」と腫れ止めの

「全然、納得できないねえ、他の医者から第二の診断を得るのが正解だろう」と疑惑の心で眺めていると「あつ、そうそう石鹸、沢山、塗つたらあかんで！脂肪分が無くなつて、そんな症状になるんや！」と帰ろうとしていた僕にさりげなく指摘した。その言葉でふと、記憶が蘇つた。そういえば確かにテニス・クラブで暇だったので、「アロエ入り」とか書いてあつた珍しい緑色の液体石鹸を思い切り体中に塗つて、

「やっぱ、高い物はええ匂いがするし綺麗になるな」と感激していたのだ。医者の予言どおり三日で完治し、めでたし。めでたし。普段、しない事をすると、ろくな事にならないという証である。

★人類史上最大のデマ？
一九九九年、最後に、ほんのちよつとだけ、痛い目にあつたが、さほど厄年と言つても悪くなかつた。巷では、西暦二千年問題とか言つて騒いでいるがこれは人類史上最大のデマで終わるに違いない。（きつと後世まで言い伝えられる笑い話になる。）本当は何も無いのに、「責任逃れ」から「ひよつとしたら」という人間の不安に対する弱みを利用して、返つて逆に人的要因による災害を招く可能性があることを、公の場で知識人や官僚が堂々と発表すべきだと思ふ。（例えば、Y2Kでなくても、全世界が一斉に電話をかけたたりすれば、電話回線はパンクするし、同様に一斉に電気を消したり点けたりすれば発電所だつて、たまつたものじゃない。）だから、肝心なことは、普段と同じように振舞うことこそ、本当の西暦二千年問題への対策だと感じる。

大晦日の夜、（会社からの指示で二十五ドルの賃金で、一応、緊急呼び出しに備えて携帯電話を持ち歩いているのだが）僕はきつとオントリオ・プレーズで除夜の鐘を打っているだろう。そして、その瞬間、「あくやっぱり何も変わらないじゃないか？」と夜空を見上げていることだろう。

カナダ百歳、その長寿の秘密

トニー・親川徳助翁のライフスタイル

秋坂真史



前回(オーロラ第二四号)は、日本の百歳とカナダの百歳の生活暦を中心に、比較しながら少し詳しく述べた。今回は、カナダ在住の日系百歳のミスター・トニーこと親川徳助項翁のライフスタイルに焦点を当て、もう少し長寿の秘密に迫ってみたい。以下、前回の生活暦を振り返りながら、その時々々のライフスタイルを考察する。

徳助さん(以下、トニー、敬称略)は、明治二十一年(1888年)に沖繩北部、現在の名護市の貧しい農家に生まれた。当時の日本、特に沖繩北部は貧しい家庭が多く、男は海外に出稼ぎに出ることが多かった。トニーもその例に漏れず一九〇五年、十七歳でカナダに渡った。おそらく、単独移民としては最年少の部類に入る。以後、鉄道での荷積み作業、材木切り出しと運搬労働などのいわゆる「重労働」をまず行っている。この「重労働」については、私これまで五百名ほどの百歳を調べた調査結果から考えると、ほとんどの長寿者の若い頃の共通体験と言つてよいほどである。とくに沖繩の百歳は、八割近くの方が、若い頃には砂糖キビ作と

いう非常に骨の折れる農業に従事していた。私は可能な限り自分で経験したことを、クライエントに勧めることを信条としているので、長寿者が過去に行つたと同様の肉体労働をボランティアとして数日間体験したことがある。それが実は、うわさ以上に過酷であった。情けない話になるが、その後、数日間ほど肩や足が痛くて仕方なかった。しかし、スポーツ・ドクターの経験としては、過去六回のフル・マラソンを走破した時と同様、非常に貴重であった。

しかし、誤解されないうちに断つておくが、もしトニーが鉄道の荷積み作業、材木切り出しと運搬などの労働を、その後ずつと行つていたら、やはり今の長寿は難しかったであろう。なぜなら、そのような身体労働と農業労働は、かりに身体強度の点で同様であったとしても、心身に与える影響はかなり異なっていると考えられるからである。鮭の加工業は、日系移民には常道的な仕事だが、当時の排日的社会の中で白人経営者の元で長年やつて行くには、トニーにとって夢が少な過ぎた。次に大きな農業経営への夢を抱

き、農業研修のようなことから始めて、本格的な農業の道に入つて行く

が、これがかえつて健康保持には幸いしたかも知れない。ついにバンクーバー近郊に五十一エーカーの広大な農地を手にした彼は、四十の坂を越えていたのである。「故郷に錦を飾る」ではないが、自分の土地を持ち、経営にも目処がついて、四十七歳になつてようやく里帰りする気持ちにもなれたのだろう。またこれは、母親の病氣見舞いの旅でもあった。ついでに、嫁さんまで見出し、カナダに連れてきたのである。実直にして前向き、またなかなかの行動力のあつた方と見て間違いないだろう。トニーの昔を知る人は、彼が農業経営の道に入った頃、若い者を何名か自宅に下宿させ、自分ですべて炊事し、彼らに食べさせ、悩み事の相談にも乗るといふ世話好き、面倒見のよい男だつたという。

五十一歳で、二人の間に初めての子が産まれた。以後、三名続いて恵まれたが、無謀な戦争が敵国で暮らす彼ら日系人の夢を無惨にも打ち砕いたのである。せつかく手にした広大な農地と、当時としては最大級の養鶏場はあえ

なく没収された。この後の收容所巡りの生活の詳細は、筆者もここで記すに忍びないが、一つ、四番目の子はキャンプ生活中に馬小屋で生まれたという。どこか、イエス誕生のエピソードを感じさせるが、彼らにとつて当時の暗黒時代にあつて数少なかつた光明の一つであつたに違いない。

さて、ここでもう少し考えてみるべきことは、そこまでして彼らがカナダにこたわつた理由と、自分達の年齢に対する意識である。

カナダという国をそこまで愛していたのである、と書けば聞かえはよいが、当時は排日主義の嵐の中であり、そういう美談ではない。結論を先に言えば、カナダにこたわつたのではなく、彼自身は帰国支度を始めていたのだが帰れなかつた、というのが本当のところである。一つには、日本は戦争の最中であり、沖繩周辺も危なかつた事情があり、また一つには、奥さんの反対があつた。彼女いわく、「あんた何でそんなに帰りたいがるね。沖繩はもつと苦しいはずよ。カナダよりいい国はないよ」。むしろ、彼女の方がカナダにこたわつていたように見える。たしかに、向こうでの生活も、今と同様に苦しくなることは目に見えていたし、もし帰国していたら戦火に巻き込まれていたらかも知れない。もともと、トニーにしろ、家族を思いやつての帰国意思であつたから、奥さんのその言葉がカナダに留まることを決定的にした。

年齢については、当時は日本の平均寿命がまだ五十歳前後の時代である。知らなくてよかつたのかも知れぬが、も

し彼がそのことを知り、また日本にあつて家族親類の強い影響下にいたとしたら、当時の日本の社会常識の中では「五十歳にして立つ」という離れ業は困難であつたと思わずにはいられない。移民としての自由な意識や発想が、彼を人生後半の繁栄へと向かわせたと考えることもできよう。

巡り巡って辿り着いた「ピゴン」で林業関係の仕事に携わって、七十七歳、いつの間にか「長寿」と呼ばれる歳になつてしまつていた。まさに彼も「気がつけば」の部類である。自分の家を建てたのも、彼が八十歳の時である。長寿者と呼ばれる方は得てして、このように自分の夢や行動、そして意思を、暦の上での年齢によつて制限したりはしない。老人医学の観点でも、暦上での年齢と実際の身体年齢とは、個人差がきわめて大きく合致しないというのが常識である。長寿を考える際、この個人差がきわめて曲者なのである。

彼は、子供の頃から山で木を切つて家計を助けたというから、山での仕事に性に合つていたに違いない。また家が貧乏で学校には行つてないので、身体を使った仕事で生計を立てるしかない。そこからくる不満で、ストレスを生じるということとは少ない。筆者も、真血管系に対するストレスの軽減が長寿達成に大きく関わつてゐるというパーソナリティの研究を報告したことがある（「気がつけば百歳」他）。

彼は八十歳近くまで働き、その後も小さな畑作業と好きなフィッシングで継続的に身体を動かしてゐた。食事面では、トニーは、肉を避け、魚を蛋白源としていた。また朝食を十分にし、

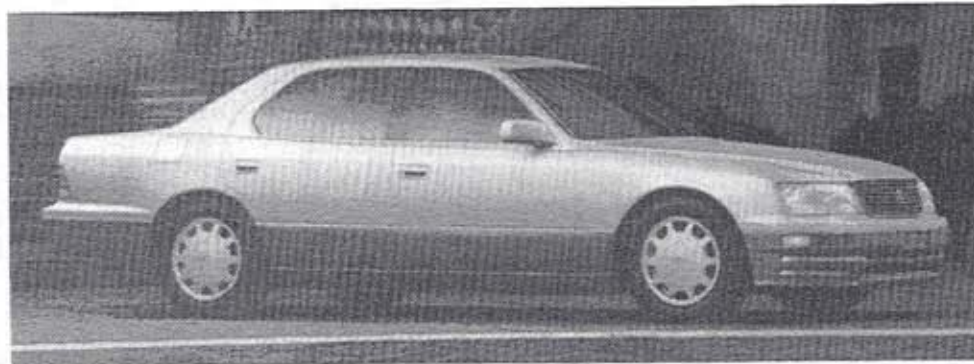
フレッシュ・ジュースにハニー・シリアルとかなり食に重きをおいた。これなど、いわゆる「学」と言えるのではないと言つても、今の栄養学の考え方と同じである。俗な意味で「学」があつても、タバコ、アルコール、等と自分の健康というものに関心をいだかない人と比べてどちらが本当に「学がある」と言えるのか、ふと考え込んでしまふ。

以後、九十八歳の時に盲腸で手術入院したが、それ以外は「風邪ひとつひかない」そうだ。これがもし真実ならば、それは彼の免疫力の強さを物語るものに違いなく、長寿の遺伝性の一つと考えるべきだろう。彼は以後、大好きなカナダの雄大な自然の中で、愛する夫人と孫たちに囲まれて、食事と生活リズムに気をつけた悠々自適の生活をおくることになる。

このように筆者は、長寿という現象は食事栄養のみならず、運動・性格心理・社会（医療福祉）そして免疫力や遺伝性に至るまで多くのファクターの総合的な結果として達成されるというコンセプトで、今も研究している。ちなみに、その一部は私がこれまで四百人以上の百歳に直接会つてインタビューした結果をまとめ、一般向けの言葉で「長寿の秘訣」を語つた拙著「気がつけば百歳」（大修館書店）に詳しいので参考にしてほしい。また、カナダでの長寿研究に興味を持つ方は、左記の沖繩の筆者宛にご連絡いただければ幸いです。

秋坂真史（琉球大学医学部沖繩アジ
ア医学研究センター）
〒903-0215 沖繩県西原町上原 207
E-Mail: akisaka@med.u-ryukyuu.ac.jp

Those Who Create A Standard Have An Obligation To Raise It.



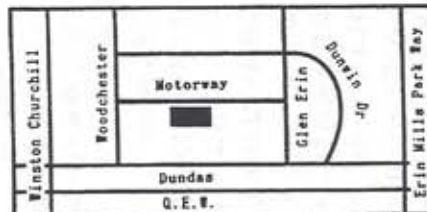
Presenting The New Lexus LS 400. A New Standard Of Luxury Automobile,
From The Car That Set The Last One.



Erin Park

LEXUS TOYOTA

YOUR EXCLUSIVE LEXUS
DEALER FOR MISSISSAUGA



ERIN PARK LEXUS TOYOTA
Erin Mills Auto Park
2411 Motorway Blvd.
Mississauga, Ontario L5L 3R2
Tel: (905) 828-7711
Fax: (905) 828-6023

妖精たちの語り(1)

「ファイフス・エレメント」



月華麗

朝の木漏れ陽の庭で、パインの肘かけ椅子に凭れて小鳥のさえずりに耳を傾ける、至福の刻の出来事でした。石楠花の茂みにはチップモンキーが走り、初夏のそよ風が木の葉を揺らし、頬をなでます。

テーブルの上で、搾りたてのフルーツジュースのグラスが樫(ブナ)の木の葉のそよぎにつれて微妙に色を変えます。この豊かな葉影に包まれて暑さが凌げ、室内はエアークンディシヨナーなどの人口の装置は必要ありません。

樫とは木へんに無と書く通り、何の用もなさぬ木です。枝分かれが多く、杉や檜のように建材にはならず、食用になる果実が採れるわけでもなく、成長が早いぶん空洞ができやすいし、木質も柔らかで、人間にとつては役に立たない木ですが、生命循環(エコロジー)の中では極めて有用な木なのです。シツカリと水を含み、山での保水力は抜群で、空洞



は獣や虫たちの棲処となり、早く枯れて腐つて他の植物の栄養になります。大地の母性を吸い込んだ優しい撫の木の下でくつろぐ時は、波立つ心も鎮まって、身体ごと周囲の風景の中に融けてゆくようです。

風と光の透き間に身をゆだね無為の時間を楽しんでいたその時、緑色の空気の中に視覚をかすめて銀色の線が走りました。ハチドリが飛ぶよりもかすかな音も聴こえたような。すると目の前に、緑色の小人が立っているではありませんか。小人は親しげに語りかけて来ました。

「星晨をたずねて」はよかったですね。運命を解くには星晨だけでは片手落ち。我々の事も紹介してくれなくては。

「我々って？あなたは誰？」

「僕は木の妖精。人は「天の気」と「地の精」を享けて生まれるのです。人間だけでなく、この地上の森羅万象に我々妖精が保っている

のです。

少し詳しく、判りやすく説明してくれませんか。

「知りたければ先ず、頭の中から思い込みと常識を追い払って下さい。そう言われるまでもなく、小人を目の前に見て常識的に考えるなら幻覚症状でしょう。」

緑色の妖精はゆつくりと語り始めました。

「この宇宙のしくみは人間にとつて永遠の謎のようですが、大昔の人達も世界が何で出来ているか興味を持ち思索を巡らせたようです。そして現象を分類し、原素を見極めることで本質に迫ろうとしました。古代ギリシャの哲学者達はそれらを地水火風、あるいは固体、液体、気体、熱の四つの働きにまとめ、四元素説はそのまま西洋哲学に受け継がれ、人間の氣質を説明するのにも使われていました。胆汁質、多血質、粘液質、憂鬱質ですが、氣質の内容については次の機会にしましょう。一方、現代の原子物理学では、物質を原子(アトム)の単位にまで分解しましたが、さらにそこから、電子、陽子、中性子、中間子の四つのエレメントを見つけ出しました。エネルギーも四つの要素に分類されています。重力、電磁力、核力閉じ込めの核力、の四種類です。しかし各エレメントの相互間の関係については的確なことは何一つ判っていないでしょう。それは五つのエレメントが見つかっていないからなのです。物質だけを追求するから四つしか見つからないので

す。宇宙は物質だけで出来ているわけではありません。この宇宙は生命に満ちているのです。五つ目のエレメントに気付かない限り謎は解けないでしょう。

「その五つ目のエレメントとは何ですか。」

「映画「ファイフス・エレメント」では愛を五番目の要素にしてみました。宇宙の構成要素を考えるのに、物質から抜け出す試みとしては評価できますが、まだ漠然とした予感の域を出られず、おちゃらけSFに終わってしまったのは残念です。」

「それでは答になっていませんよ。」

「あなたは何でも質問すれば回答を得られると思っっているようですね。少しは自分で考えなさい。」

「妖精から叱られてしまいました。」

「ヒントをあげましょう。僕はその五番目の要素(ファイフス・エレメント)の働きが視えるようにと現れたのです。いずれ他の四つのエレメントの妖精達もやって来るでしょう。今回は五つのエレメントで、万物は循環し、バランスが保てることを覚えておいて下さい。」

「なるほど、五つでバランスがとれるのか。それで昨年は宝塚歌劇で雪月花星組の他に宙(そら)組ができたわけか。」

「そういうことではないんだけど……」

「あきれて困った顔を最後に、緑色の妖精は樫の木の中へ消えてゆき、いつの間にか太陽は梢から外れて風も止んでおりました。」

◇ホーム・ドクター探し

ふだん医者に寄り付かなくても、ホームドクターがいらない、ということには不安なものである。カナダに来て以来ずっとお世話になっていたドクターSが突然引退された。コレステロール・テストに行つてそれを知った私はうろたえた。さて、これからどうしたものか？

前回の年次健康診断で、ハイ・コレステロールを指摘され、コレステロールが良性か悪性か、テストを受けるようにいわれていたのだが、二十四時間絶食する必要があるもので、それが辛くてテストを今まで先延ばしにしていたのだ。

思えば私は決してよい患者ではなかった。忙しいを口実に年一回の健康診断をさぼり、貰った薬は半分飲んで捨て、注射は避けて逃げ回った。それでもドクターSはわがままで非協力的な患者を見捨てず、緊急の時はすぐに診察をして下さり、直ちに専門医のアポイントメントを作つて下さった。

その頃日本の尼子さんから「東京裏通信」の原稿が来た。区の無料診療車でハイ・コレステロールの診断を受け、ほっといたら半身不随、といわれたとある(本誌秋号、第二八号)。それを読んでドクターSのところへすつ飛んでいったわけである。知人の某氏は同じ頃、ハイ・コレステロールを宣告され、急に厳格な食事療法をしたため、円形脱毛を起こした。私は円形脱毛にも半身不随にもなりたくない。

新しいホーム・ドクターを探すにはどうしたらよいか？元看護婦の知人に相談したら、まず最寄りの総合病院に電話をして、ジェネラル・プラクティスの医者を紹介して貰え、という。それで電話をすると、その病院では二年ごとレジデンス・ドクター(インターン)が担当医になる制度がある、二年単位でよければ紹介するという答え。ホームドクターは経験があった方がいいので辞退すると、College of Surgeons

& Doctorsというドクターの登録所を教えてください。

そこでドクター達の経歴を見て選んだらよい、と電話番号をくれた。急いでいたので、とりあえず、隣人Yちゃんの行きつけのクリニックを紹介してもらった。「カナダ人のドクターはかなり積極的にプッシュアップしないとだめだよ。あれをしてくれ、これをしてくれ、とこつちから言わないとやってくれない。特にハリス政権になつてから医療費カットで何もしてくれなくなつたから」Yちゃんはハリス政権以下に力を込めた。

手始めにアニユアル・チェックを受ける。一通り診察して「ハイ、あなたはどこも悪くありません。

大丈夫」「エッ！これでお終い？血液検査はしないのですか？」「じゃあ、しましよう。結果が悪くなかつたら、連絡しませんから」というわけで、同じ階にある血液検査クリニックに行く。検査後一ヶ月以上経つても音沙汰なし。「こちらから要求すれば何でもしてくるが、要求しなければ何もしてくれない、ハイ、大丈夫です、の感じなので何となく疑心暗鬼だ。それとも常に要求を強くプッシュして、こちらが主導権を取つてドクターを動かさなくてはならないのだろうか。」

(K・H)

BRIDGESTONE
BLIZZAK

STOP & GO
in the **SNOW**
Rebate Event

WIN
UP TO A
\$100
MAIL-IN REBATE
up to \$25 per qualifying tire - up to 4 tires*

Play today!

*You could win a mail-in rebate of \$4, \$10 or \$25 per qualifying tire up to 4 tires. Valid on BLIZZAK™ M201, M202, WS15 and WS30 tires purchased between September 15, 1999 and February 28, 2000, while card supplies last. 150,000 scratch cards available at outlet. Odds of revealing various rebate amounts are: in Level 1, odds are 3 in 4 of revealing "\$4 & Stop" and 1 in 4 of revealing "\$0"; in level 2, odds are 3 in 4 of revealing "\$4 & Stop" and 1 in 4 of revealing "\$0"; and in level 3, odds are 3 in 4 of revealing "\$4 & Stop" and 1 in 4 of revealing "\$0". Correct scratch is required to proceed to the next level and only 1 spot may be scratched in each level. Scratch question required to claim \$10 or \$25 rebate. Full rules and regulations, including how to obtain a card without purchase, in participating Bridgestone Firestone stores.



BC州ミীগークリーク温泉

バンクーバーから三時間半

日本式の露天岩風呂

マイク佐藤さんが

BC州政府と共同経営

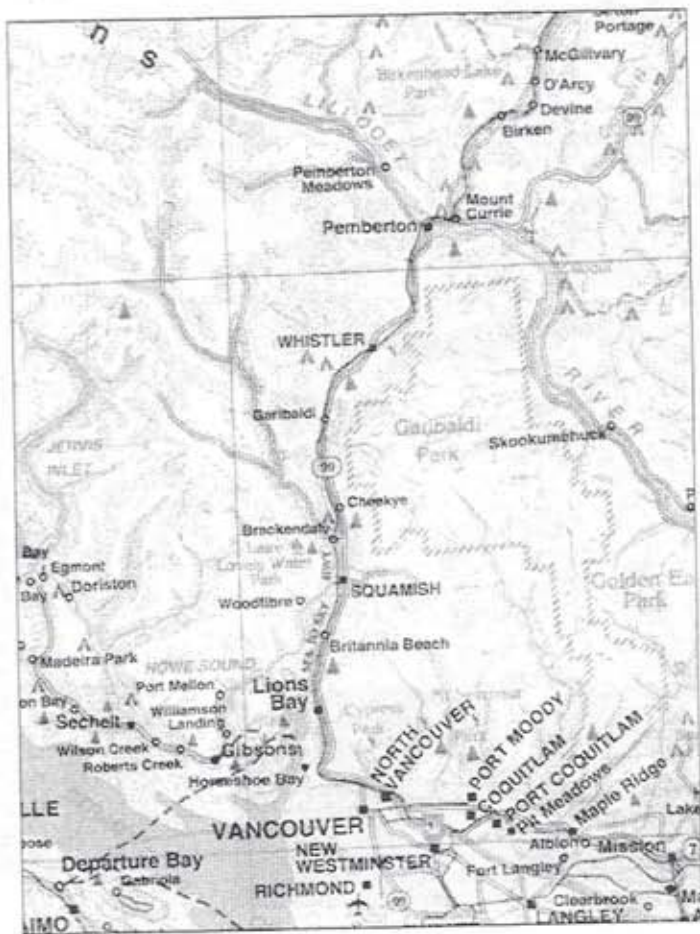
BC州バンパートンから奥に入ったミীগークリーク・ホットスプリングスに日本式の露天岩風呂が今年六月誕生した。ミスター・ホットスプリングと地元で呼ばれているマイク佐藤さんとBC州政府森林省が共同経営するカナダで初めての露天岩風呂である。

当地はバンクーバーから車で三時間半乃至四時間、ウイスラーからハイウェイ99を三十分ほど走るとバンパートンの町がある。そこから更に北西へ六四キロほど行った地点である。林道の砂利道をバンパートン・メドウズを越えて、約一時間半ほど走り、カプリコーン川を渡って四キロほど行くと、温泉の入口に到達する。このあたりは州有地で、州営のキャンプ場がある。冬は雪に閉ざされているが春からサ

ンクスギピング過ぎまで、大勢のハイカーがキャンプ場を訪れ、岩風呂に浸って帰る。一度に三十五人が入れる大きな岩風呂で、設計、建設は、かつて日本で岩風呂を作ったことのあるトロントの造園師、鳥塚さんが担当した。岩風呂の傍らに更衣室とトイレの設備も整えた。

マイク佐藤さんは一九七三年にカナダに移住、トロントで毛皮のビジネス、ワールド・ファアを始めて成功した。その傍ら、好きな温泉を求めて、カナダ中を歩き回った。

火山帯のあるところ、ホットスプリングありで、太平洋沿岸火山帯の走るカナディアン・ロッキーやバンクーバー島、クイーン・シャーロット島、BC西海岸は有数の地熱地帯、佐藤さんは古い記録や鉱山地図を頼りに人里離れたスプリングを求めて、小型機やヘリコプターをチャーターし、ガイドや時には馬を雇い、資金にあかせて探し回っ



た。温泉への情熱が止み難く、昨年ビジネスを譲渡してBC州に移り、本格的に温泉開発に乗り出した。

本誌「オーロラ」にも五回にわたっ

て、温泉探査の苦勞と発見したときの喜びについて、「マイク佐藤のいい湯だな」を執筆していただいた。

・「洞窟風呂を楽しむエインズワース

温泉」(九五年夏、第十一号)

・「奥ハーフウェー川温泉」(九六年

春、第十四号)

・「馬の背に

揺られていく

粹な温泉、デユ

ワ川温泉」(九

六年秋、第十

六号)

・「バンクーバー

島の雄大な野

天風呂、トワイ

ノのコブ温泉

(九七年春、

第十八号)

・「バンクーバー

から最も近いピッ

トリバー温泉」

(九七年秋、

第二十号)

である。どの

温泉も生易し

い場所ではなく、道なき道を踏査して、

時にはザイルを使って岩場を上り下り

して湯壺に到達する。それに比べると、

ミーガークリークは温泉の入口まで、

落石、土砂崩れ、熊などの危険がある

ものの、ともかく車で行くことができ

アクセスが容易である。

温泉に対する考え方は日本とカナ

ダでは随分開きがある。カナダでホッ

トスプリングという、水着を付けて

はいる温泉プールだ。したがって法律

も温泉法でなく、プール法が適用され

るため、湯温を四十一度以上に上げる
ことができない。ミーガークリークの
源泉の温度は五十一度だそうである。

最近、やっとミー

ガークリークは

特別法令でプー

ル法か

ら

岩風呂全景



ハズされた。

ミーガークリーク・

ホットスプリングはハ

イカーの間ではかなり知

られており、今年だけで約三

万人が訪れている。付近のキャンプ場

には土日は百数十人が入るといふ。タ

刊フジや日本のマスコミでも紹介され

たため、日本からもカナダの露天岩風

呂を求めて観光客がやって来る。この

九月にはカナダ人のチャールズ・ラン

メル氏(日本の大学で経営学を教える

いる)が率いる日本温泉協会代表十

六人がミーガークリークを訪れた。

十一月末、マイク佐藤さんがトロン

トにひよっこり現れた。

「いやあ、とうとうできましたよ」

夢の露天岩風呂を実現した佐藤さ

んは、本当に嬉しそうだ。

実現に漕ぎ着けるまで、

幾多の障碍、紆余曲

露天ふるのそばに

はログハウスも



ご満悦の
佐藤さん(左)

折に

遭遇した。環

境グループの反対、温泉のコンセプ

トが判らないカナダ側との交渉等々

である。それでも遂に佐藤さんの自

然を生かした日本の露天風呂のコン

セプトを州政府森林省が認めて、佐

藤さんの会社Sea to Sky Osen Inc

と共同経営となった。

ミーガークリークから東にハイウエー

99を十七キロほど行ったジョフリー・

クリークには佐藤さんの私有地があり

ここにも温泉が湧き出ている。佐藤さ

んはここに丸木造りのキャビンを建て

て住んでいる。将来はここに露天岩風

呂付きのキャビンを造り、開発したい

そうだ。近くにはリロオト湖があり、

奥入瀬のような溪流

が湖に流れ込んで

る。

余談だが、バンバー

トンはBC州の松茸

集散地としても有名

ということ。ミー

ガークリーク周辺で

も松茸が採れるとい

うことだ。聞くところ

によると、カナダ

の松茸は元々は松で

はなくダグラスファー

に出るキノコだそ

うで、でも香りと味

は松に出るキノコ

と全く同じだ。ダグ

ラスファーのあると

ころ、松茸ありなら

温泉は無理としても、松茸ならオンタ

リオやケベックでも探したらあるので

はないだろうか。

Sea to Sky Osen Inc (604) 932-7871)

写真・タ刊フジ転載





夏雲多椰子
乞食のいない国
果たして幸せ?
それとも……

香西宏昭

乞食。「こじき」と読みます。今日本では死語になつていられるかも知れませんが、要するに、他人からおカネや食べ物を買んでもらって生きていく人のことです。こうした人たちはいない方がいいに決まっています。もし、すべての国民が健康で幸せな生活を過ごしている国が地球上にあるとしたら、その国では乞食は存在しないでしょう。では、その逆である「乞食がいない国は幸せな国である」という命題は正しいでしょうか？これが今回のテーマです。

日本から海外へ出てみて、気がつくことのひとつは、日本では見かけなくなった乞食の存在です。そんなに多くの国を見て回ったわけではあ

りませんが、私の経験で一番ショックだったのは中国でした。十年近く前、北京市北方の観光地、万里の長城の登り口だったと思います。観光客目当てに、目の見えない人、足のない人……来る往来るわ、障害者のオンパレードなのです。中国人の現地ガイドは「おカネをあげないで」と言うのですが、あそこを黙って通り過ぎるのにはかなり勇気が必要でした。私は思わずガイドに「中国は社会主義でしょ。社会補償制度が整っているのじゃないの？」と問いたりました。彼は「中国は広いから」と言うのですけれど、やはり苦しうでした。

この時の中国旅行は、西安、桂林、上海と回り、これらの都市では観光バスばかりに乗っていました。さすが万里の長城以外では乞食にはお目にかかりませんでした。観光地の特殊事情と言つていいと思います。

トロント市でもいましたね。今年で四年目ですが、ダウンタウンで少数の常連を見かけました。最初の年は「ペーパーシッターの職を失つたので」と書いた紙を添えて協力をお願いします。「募金型」の女性も見られ、後述するような旧日本型の乞食とははつきりタイプが違うように感じました。このタイプは、二、三年目には姿を消し、働けるのに働かない常連型が残ったようです。そして、今年が一番少なく、全く見かけない日が多かったように思います。

パリでは、道路で地図を広げていたら、若い男がやって来て「どこをさがしてる？」と聞くのです。日本人

としても中肉中背、夏だというのにレインコートを着込んだ一見技術社風の紳士。「地下鉄だ」と答えたら、「あそこだ」と云う。すぐ目の前だから聞かなくてもわかつてる。私はてっきり地図を見たくて来たのだと思い、地図を差し出すと、黙って小銭を乗せた掌を見せるではありませんか。なんだ、物乞いか、それにしても当方のために何かをしておカネをせびるのは感心だわいと思ひ、小額の紙幣を渡しながら「なぜ、こんな事をしてる」と聞いてみました。「仕事がない」という彼の返答に、私はそれ以上聞く語学力もないし、その必要もありませんでした。

フィリピンでも、最初に訪れた七、八年前にはタクシーが交差点で停まると、子供がやって来て窓越しにしきりにコインをせびっていました。その後、こうした光景は急速に消えていきました。ラモス大統領(当時)がマニラ市内の有名な貧民街や空港での職員による物乞いなど、屈辱的な事態を一掃するよう努力をした結果ではないか、と思われます。しかし、大都市の繁華街近くでは、障害を負った高齢者などどう見てもおカネを稼げそうもない旧日本型の乞食がまだ残っています。

カイロ(エジプト)では、ちよつと変わった経験をしました。ツアーの一行十数人が会食をするというので、スーツ、ネクタイ姿でホテルの土産物店を冷やかしている、若いジャンパー姿の男が寄ってきて「私はこんな汚いジャンパーを着ている。貴方が金持ちだ」と云うのです。なるほど、ジャンパーはよれよれだ。

だが、ははーんと思いました。イスラム教には「喜捨」という掟(おきて)があつて、貧乏人は金持ちに金品を請求できる、というものだ聞いていました。要はカネなんだ。私が金持ちであることを認めれば、喜捨を求めてくるに違いない。私は云いまして。「私は貧乏人だ。日本では貧乏人がこういう格好をしている」。相手知らないことをいいことにして、その場を取り繕いましたが、変な顔をして黙ってしまった男の表情がいまだに思い出されます。

カナダに来たばかりのこと、トロント島では何とも図々しい初老の男に出会いました。ボロシャツに半ズボン姿、年格好も私と似たり寄ったりなのですが、決定的に違うのは彼が自転車の旅を続けているらしいことでした。私を呼び止め、時間を聞いたあと、「カネをくれ」と云うのです。カナダ西海岸に上陸、自転車でトロントまで来たとかで、「疲れた」と一言。聞く必要もない時間を聞いて人を足留めにしカネをせびるあたり、人を買った話だし、「どうなろうと、オレの知ったことか」と思いましたが、人影が少ない島では困るだろうと思ひ、少額を付き合いました。

□戦後、日本から乞食が消えた？

目を日本に転じましょう。今の日本で、私は乞食を見たことがありません。東京などで段ボールにくるまつて寝起きしているホームレスは沢山いますが、彼らがおカネを無心している様子はありません。乞食のいない日本、昔から？そんなことはあ

りません。私が小さかった頃、つまり太平洋戦争前の数年間、路上や稀には民家の戸口に乞食が現れたのを記憶しています。今の外国の同業者（？）と違う点は、身なりが極端にひどかった。ポロとしか云いようのない布切れをまとい、傍目からも気の毒そのものという感じでした。（そこへ行くと、現代トロントの乞食諸兄姉は身なりもこざつぱりしている上、中には新品の箱からタバコを取り出しふかしたりして、「真面目にやれ」と云いたくなることもありませぬ、まあ、それはそれとして……）



日本から乞食が消えた最大の原因は戦争だった——私はそう考えています。戦後、食糧事情が極端に悪化した結果、国民の多くは餓死寸前に追い込まれてしまいました。あの時、誰が他人に金品を恵むことが出来たでしょうか？この辺の事情は物乞いする側も十分に理解していた、と思うほかありません。

よい例外は、世間が少し納まりかかつてから現れたと思われる傷痍軍人姿の物乞い出したが、当然のことながら、いつしか消えて行きました。

極端にひどい状況の中で姿を消していった乞食は、状況が好転した後になつても復活することはありませんでした。なぜか？最大の理由はやはり食糧を中心にモノがあふれかえつたことでしょうか。今どき、無一文になつても知人さえあれば餓死するようなことは考えられません。前期の段ボール・ホームレスにしても、繁華街の近くに「住居」を構える第一の理由は、大都会の残飯や酒類にありつけるからでしょう。

さて、乞食談義に紙数を割りすぎてしまつたようです。本論に戻ります。

このように「豊か」になり、乞食が見かけられなくなつたのですが、こんな現代日本は本当に幸せな社会と言えるでしょうか？

今の日本社会が幸せかどうかと聞かれて「イエス」と答える人があつたとしても、それは「まあ、どこかの国に比べれば」という条件付きの比較相対論であつて、無条件絶対的に肯定する人はいないでしょう。私もそうです。この問題について大きな証言となると思われる痛ましい事件が三年前の一九九六年四月に東京、池袋で起きました。たぶん、トロントの邦字紙でも報道されたと思うのですが、七十七才の母親と四十一才の長男の親子が自宅で遺体で見られ、調べた結果、長男は病死、母親は飢えによる衰弱死と判つたのです。

独り住まいの高齢者が死後発見されるケースはごく稀に報道されま

すが、この母親は日記を付けていて、死に至る事情を克明に残してくれていたため、マスコミも大きく扱い、衝撃の波紋は広がりました。

今、この問題について検証することは出来ませんが、日本には生活保護という制度があります。この制度を利用すれば、病人を抱えた高齢の女性が餓死しなければならぬ事態は、少なくとも避けられたと思われまふ。法律や制度はあるのになぜ？と問うことが、事後の問題としては一番大切なことだと思ひます。そして、この種の問題は常に氷山の一角しか表沙汰にならない、つまり一件の事件の背後には数多くの「予備軍」が控えていることを頭の中に入れておく必要があります。例外的な事件として処理するのではなく、問題の根は深いと見るべきです。

この事件で誰もが思うことは「親族はいなかったのか」「近所の人は気付かなかつたのだろうか」ということでしょう。報道によりますと、この母親はお役所の世話になることをとて嫌つていたようで、近所の人が「煮物をあげよう」と云つても断つたということですから母親側にも責任なしとしないのですが、地元にとけ込めなかつた点も含め、地域社会と個人の問題を考えざるを得ません。

前述したように、どうも欧米先進国の乞食は態度が大きいというか、比較的安易におカネをせびるのに反して、日本を含むアジア系の乞食はとことん困つてから（又はそのように見せかけて）、物乞いをしているよう

に思えます。この背景には、物乞いに対する考え方が欧米では寛容で、アジアでは厳しいという事実があるのではないのでしょうか。

この違いはどこから来るのだろうか——私は宗教観が根底にある、と考えます。キリスト教、仏教も含め隣人愛を説かない宗教はないでしょうが、日本と欧米では宗教の浸透度といえますか、実践の度合いがかなり違いますね。仏教にしろ、神道にしろ、大多数の日本人にとつて宗教はもつぱら冠婚葬祭用になつてい

ます。日本では助け合いの精神が希薄である——と書くと、反論される向きも多いと思ひます。確かに私達が知つてゐる戦前の日本社会では、地域社会のつながりが密で、私などはむしろ住みづらいつつともありましたが、それは宗教的、つまり「心」から来る規範と云うよりは理性的な習慣的な行動だつたと思ひます。そのため、戦後、特に高度経済成長期を経て、家族関係や地域社会の構成が大きく変わると、そうした規範は急速に衰えた、と考え

ています。日本から乞食がいなくなつた、あるいは極端に少なくなつた事実、日本の社会が幸せになつたためではなく、血縁社会、地域社会が崩壊の危機に瀕しているからだ。私はそう結論づけたいのです。

困つた時に「SOS」が云いにくい社会、助けを求めても誰も来てくれない社会、そんな国に日本がなりつつあるのではないか。そう思えてなりません。（無職、横浜市在住）

ミューチュアル・ファンド入門 ファンドの種類と選び方

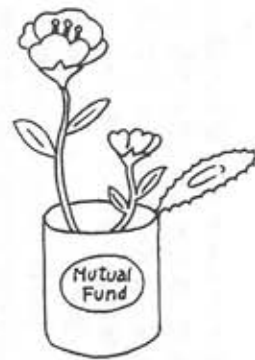
島川大輔



も同じで、交渉は可能です。Front Loadの利点はいつでも解約出来ることです。例えば、突然、お金が必要になった時、あるいは他の会社のファンドに替えたい時などには、動きやすくなると思います。

次はBack Load (バックロード)あるいはDSC (ディファード・サービスマージ)。これは買う時に手数料を払う代わりに売る時に払う方法です。会社により違いはありますが、例えば、一年目に売却すると、五・五%、三年目で四・五%、五年で三・五%と保有期間の長さにつれて手数料比率は下がっていきます。そして五年から七年保有すると一般的に手数料はゼロになります。そもそもミューチュアルファンドは長期投資すべきもので、五年以上保有する予定だからかまわないうとDSCを選ぶ人が多いようです。同じ会社内の他のファンドに替える時は、一般的に手数料は取られませんが、即ち、ミューチュアルファンドA社のカナダ株ファンドから米国株ファンドへ替える時には手数料はかかりません。ですから、ファンドの種類の違い会社のもので買おうと、将来ファンドを替える時に選択は楽になります。また、この手数料も買った時の資産をもとに計算するのか、売る時点での資産をもとにするのか、会社によって違いますので、確認が必要です。毎年資産の十%は手数料を払わずに解約することが出来ます。

いは会社へ行き、自分でファンドを選択することになります。投資アドバイザーは、いろいろな分析、アドバイスあるいは比較、説明をする代わりに手数料をもらうのが仕事ですので、一般的にNo Load は扱いません。



もうひとつの経費 MER、これはLoadと違い、どこで買ったどのファンドにもかかる経費です。しかも交渉の余地もありません。ミューチュアルファンドの会社は、資産を運用するのにいろいろなコストがかかります。ファンドマネジャーを含めた従業員の給料、証券会社へ払う株の売り買いの手料、広告費などなど。それは運用している資産に毎年数%チャージしてまかっています。当然、公表はされていますが、会社から三ヶ月に一回届く書類には出ていませんので、毎年何%払っているのかわからない人も沢山いるかも知れません。一般的に二・五%前後、中には三%以上取っているファンドもあります。皆さんの手元に届く書類に出てくる何月末での資産の数字はこのMERを引いた後のものです。

これで数回に分けてミューチュアルファンドについて述べましたが、少しま

ミューチュアルファンドにかかる経費は二つあります。ひとつは買う時(あるいは売る時)に払う手数料(Load)。もうひとつは毎年引かれるManagement Expense Ratio(MER)。Loadはいつ払うかにより、買う時に払うFront Load、売る時に払うBack Load、あるいはDeferred Service Charge(DSC)、払わないNo Loadの三種類に分かれます。

まずはFront load (フロント・ロード)。ミューチュアルファンドの会社により、若干違いますが、一般的に五%まで手数料を払うことになりま

す。例えば、一万ドルのミューチュアルファンドに対し、五百ドル。不動産の手数料、あるいは銀行の住宅ローン(モーゲッジ)金利も、交渉次第で下げて貰えることもあることを皆さんご存じだと思いますが、Front Load

オーラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行
麹町支店、普通預金『オーラ』の口座へ
年間購読料、三千円を振り込み、同時に
お申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先= O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

とめてみます。長期的に資産をインフレ率以上に増やすためには株式投資が最適。しかし株式投資には株価の上下のブレの危険性がある。そのリスクを小さくするために分散投資が必要。しかし、個人では資金的、知識的、あるいは時間的理由でそれが難しい。そのため、プロが運用するミューチュアルファンドが便利。しかしファンドの種類は数千とあるので、自分に合ったファンドを選ぶ必要がある。なにしろミューチュアルファンドの中には一年で二十%以上上がるものもあれば、同じ年に二十%以上下がるものもあるわけですから。(最終回)

(Neshit Burns, Private Client Division,
Tel (416) 359-6407, 1-800-567-3008,
E-mail: daisuke.shimkawa@nbpcd.com)

ペイストリートを歩いてみると、足もとにヒラヒラと印刷物が飛んできた。全体にブルーっぽく、何か見た事のある絵柄だなあと良く見ると、なーんだ自分の描いたイラストレーションではないか。そういえばこの仕事、クライアントに絵を渡したつきり、仕上がり印刷物を見ていなかったのだ。こうして使用しているのならサンプルを送ってくれれば良かったのに……と思いつつ、近くのローヤルバンクのカウンターに行くと、他のシリーズも合わせて五点の小冊子が出ている。すべてカバーは僕のイラストレーションである。この仕事はローヤルバンクの数あるサービスの中の、特に一般の顧客に身近なサービスを説明したもので、二年前頃から始まり、今でも続いている仕事なのだ。

一九八〇年、それまでグラフィックデザイナーとして仕事をしていた僕は、ある日突然仕事変えをやった。その日は父の死亡連絡を日本より受けた日で、自分の気持ちの中で何かはげしげ、もっと個人的な仕事をやろうと思つてのイラストレーター宣言だった。幸い、沢山のすぐれたアートディレクターと会え、やった仕事が次の仕事を持ってくるといふチャンスに恵まれたり、自分の心変わりが、つまり自分の気持ちの赴くままに流れて良かったのだと思つている。

イラストレーションはコマースヤル、広告、コミュニケーションのための絵、そして写真である。商品そのものを絵にするものから始まり、商品のイメージを絵にしたり、キ

日塔富夫のにが虫にっこり

イラストレーション あれこれ



ンプルなスタイルを持つ人にはアイデアこそが命である。

アイデアの部分でイラストレーションを見ると、日本とアメリカ、カナダの間に違いのあるのがわかる。(もちろん違つてあたりまえなのだけれど……) 日本人ははっきりとしたアイデアのビジュアルを好まず、ぼんやりした雰囲気的な、あいまいな、幼児性のある、どちらかというと絵画的なものが好きなのよ。そんな訳で、時には何のためのイラストレーションで、何のためのポスターなのだろうかと頭をひねらなければならぬ。そして時々アイデアを前面に出したものがあつたりすると、それは極端にひとりよがりなグロテスクであつたり、暴力的であつたりする。ある人はそれらを評して爛熟文化などと言つて聞こえは良いけれど、要は、精神の中に確固たる表現したい物がないからなのかも知れない。

ひるがえつて、北米の表現方法は、シンプル、明快である。そしてユーモアを好む。そこにははつきりと国の人種構成が表れていて、他民族の集まりのアメリカ、カナダ社会では、違つた人種間でもわかり合えるアイデアが大きな比重を占める。そこには人間の究極的な、喜び、悲しみ、怒りなどが軽いユーモアにつつまれて、あるいは直接的に表現されるのが多い。

僕の手もとに、雑誌、ニューヨークのカバー絵を集大成した厚い本がある。一九二五年の創刊号から一九八九年の記念号まで、三千二百七十七点の表紙が載つてい

る。そこにはアメリカの、戦争をはさんだ文化の高揚が感じられ、その多種多様な、明るい、品のある、上質なユーモアセンスには圧倒される。そして、それらを自由奔放に絵にする、これまた千差万別のスタイルを持った沢山の描き手達、それはコミュニケーションアートの本家の面目躍如である。

それにしてもいろんな仕事をしたものである。トロントライフ、サタデーナイトをはじめほとんどの雑誌にイラストレーションを描き、レコードのLP、CDのカバー、ポスター、ビルボードポスター、パッケージ、低学年のテキストブック、そしてアメリカの仕事として、ニューヨーク・エスカイア、ポストングループ、ワシントンポストなどにも掲載されている。

一九九三年の末、それらカナダでやった仕事を見てもらうための展示会を、黒田征太郎さんが東京で開いてくれた。

「……日本人の絵ではない」
「……絵が媚びていないのが良い」
この二つの評を励みとして仕事を続けていく現在である。

九十才で三年前に死亡した母は、最後まで僕の仕事を理解していなかったようである。看板屋さんまでが限度で、外国で絵を描いて生活するなどというのは、あやしい仕事だと思つていたふしがあるのだ。

ところで、先月、十一月十三日のナショナルポストに載つた僕のイラストレーション見ましたか。

(イラストレーター)



今世紀最強のアン 「完成版 赤毛のアン」



L.M.モンゴメリ 原作

山本史郎 訳

原書房 定価2200円+税

ISBN 4-562-03261-8

二十世紀もおしまいとなった今、待ちにまつた「完全版」赤毛のアンが原書房から出版された。

「完全版」と銘打つには理由がある。一九九七年に北米で出版されて話題となった、The Annotated Anne of Green Gables (注釈付き「赤毛のアン」)の日本語版というわけだ。

英語版の編者は、M.E.バリー、M.A.ドワーディ、M.E.D.ジョーンズ。

この本の特徴は、なんといってもアンを取り巻く時代と環境が、豊富なイラストと写真をまじえて語られていること。舞台となったプリンスエドワード島の地理や歴史、島の人々の風俗や習慣、教育事情、十九世紀末のファッション、庭と植物、キルトやお料理などなど、三人のスカラーの手によって明らかにされている。

また、作品中に引用されている聖書や文学作品、たとえばブラウニング、テソーン、ローウエル、スコットなど出典が明記され、説明がついているので、文学好きの人にはたまらない。「テ

ソーンの影響はただたんに明らかかな引用にとどまらず、この小説の言葉、表現そのものにまで及んでいる。「六四六ページ」と読むと、アンって、こんなに深いのか?!とただただ驚いてしまう。

ドワーディの「解説」では、これまで日本の読者には知られていなかった作者モンゴメリの人生が、主人公アンと比較されながらぞんぶんに語られている。従来、モンゴメリは祖母の世話にあけくれた沈鬱な日々なかで、「赤毛のアン」を執筆したと思われていたが、ドワーディは、モンゴメリの日記をひもとくと、「イーワンの求婚は、一部「赤毛のアン」の執筆と時期が重なっている」と将来の夫の存在を指摘している。

さて、楽しみは注釈や解説以外に、新訳の「赤毛のアン」を読むことでもある。村岡花子訳で有名なアンの上品な語り口が、男性山本氏の手にかかるとどうなるか。思いっきり感情こめて「オー！」を連発するアンに、まず

びっくりきょうてん。

この点について山本氏は「アンのセリフは、普通の日常会話というより、書物でのみ用いられるような語、言い回し、センテンスが多いというのが特徴になっていきます。したがって、「オー！」という、少々、いわゆる「バタクささ」が感じられる言い方はびつたりだと思えました。ただし、その他の人物にもときには「オー！」と言わせてはいます。これは主として、アンの「オー！」が出てきた直後など、その口調がうつつてもおかしくないところですよ。(ただし、わたくし、すなわち訳者にまでうつつてしまつて、やたらに使つてしまったところもなきにしもあらずです。)」と電子メールで応えてくださった。山本氏、なかなかユニークな方とお見受けした。

訳文ではアンが成長するに従い、口調がかわつてゆくのも工夫がこらされている。読み進むうちに、アンがはつきりとした輪郭をもつ主人公としての目の前に現れてきた。今世紀、最強のアン! かもしれない。日本ではこれまで

十三人以上もの人の手によって翻訳されてきたアン。それぞれを読み比べてみるのも、興だろう。

とにかく、「完全版 赤毛のアン」を隅から隅まで読むと、これまで抱いていたアンのイメージがひっくりかえること間違いなし。「少女小説アン」から「文芸作品アン」へと意識がかわつてゆく。今後、モンゴメリの日本での評価も「児童作家」から「作家」へとかわつてゆくにちがいない。

二十世紀末に男性の翻訳者の手によつて再生されたアン。大人のあなたにご読んで欲しい一冊だ。

(Yuka Kajihara-Nolan)

yuka@yukazine.com

Visit <http://www.yukazine.com/>

(L.M. Montgomery in Ontario)

◇「こいつらが

日本語をダメにした」

赤瀬川原平
ねじめ正一
南伸坊



外国に住んでいると、日本語を客観的に聴いたり、感じたりするようになる。「こいつらが日本語をダメにした」は、赤瀬川原平、ねじめ正一、南伸坊のトリオによる日本の諺漫談で、日常生活の中の日本語の諺の面白さを再確認する本。言葉の原価計算、言葉の因数分解、言葉の耳鼻咽喉科から言葉の検便にいたるまで、ジャンル別に（「大は小をかねる」が検便セクシオンに入っていたりして、選択基準がよく分からないものもあるが）、片っ端からそのルーツをあれこれ詮索、だじやれ混じりに説明していく、寝っ転がって読みながらトリオの息の合った話し言葉のリズムを楽しんで、時にはハハーン、成る程という個所にも遭遇する。

一例「こんぶり勘定」
ねじめ「これ一回やったことあるんですよ。

どんぶり持って銀行に行ったわけ。どのくらいお金が入るのかと」そしたらカツ井なんかのどんぶりで、五百円玉が二万四千円、百円玉が六万三千四百円入ったんだそうだ。（でも本当は南伸坊が言うように、ソバ屋でいるんだんぶりを全部一律いくらと決めて、どんぶりの数で売上げを計算すること）。「舌の根の乾かぬ内」の舌の根はどこだろう？「あの手、この手、奥の手」の奥の手はどんな手？「目からウロコが落ちる」の目のウロコとは？爪に火を灯したらどうなるか？「サイを投げる」と「匙を投げる」の違いは？等々、日本語のうんちくを傾ける。
（ちくま文庫、七六〇円）

◇「三島由紀夫の

フランス文学講座」

鹿島茂編



私にとって三島由紀夫は・・・「金閣寺」などの小説を二、三冊、借りて読んだだけで、生前多分野で活躍し常に

話題に包まれた絢爛たる姿を見ていたものの、華麗なギャラントリーの十九世紀的な存在で、とても同じ現代を共有する人とは思えず、関心がなかったところが、通りがかりの本屋の店先でレイモン・ラディゲばりの若い三島を描いたカバー装画と三島とフランス文学という取り合わせにつられて買ったこの小冊で、三島が際立って卓越した評論家であることが判り、仰天した。作家の日記、書簡集、評論、エッセイなどには、意外と本音や本質が現れていることが多い。この本もそんな一冊。坂口安吾も司馬遼太郎も、悪いが小説より評論の方が面白い。

編者の鹿島茂はかねてから三島のフランス文学についての評論に傾倒、生前ばらばらに発表された一九五〇年代、六〇年代のエッセイ、評論を先年一冊にまとめ、「三島こそは、戦後最高の批評家である」と推奨している。ラディゲ、マルキ・ド・サド、ワイルド、バルザック、スタンダール、フローベル、ブルースト、カミュ、バタイユ、ジャン・ジュネ等々について書いているが、実に簡潔に本質をついたその批評眼の確かさに舌を巻いた。その作家の作品を読んだことのあるなしにかかわらず、その作家の存在、本質がズバリと伝わってくるのである。これ程核心をついた文学評論をかつて読んだことがない。

読み終わると、三島文学の思想が自ずから浮き上がり、なぜ彼があんな奇異な死に方を選んだのか、その理由が判ってきた。

（ちくま文庫、六二〇円）（R・H）

TEL: 1-888-SHIPOCS

日経・朝日・読売新聞国際衛星版を同日配達いたします
新聞・雑誌・書籍の御注文はOCSへ

Toronto

3280 Caroga Drive, Mississauga, Ontario L4V 1L4
Tel: (905) 673-0108 Fax: (905) 673-2408
購読課直通 Tel: (905) 673-7494

Vancouver

3800 Viking Way, Unit 250, Richmond, B.C. V6V 6M8
Tel: (604) 270-1139

OCS
OVERSEA COURIER
SERVICES LTD.

海外新聞普及株式会社

編集室から



☆最近、元気なお年寄りが増えた。働き盛りの三十代や四十代の人達より、リタイヤールした七十才を越えた人達の方が、ずっと元気なのだ。彼らには、お金と暇に余裕があることは確かだが、それ以上に元気なのだ。彼らには、お金と暇の余裕があることは確かだが、それ以上に元気な秘訣がありそう。まず、彼らの成長期であった、五十年前には、精製食品や、加工食品やファースト・フードも現在に比べると出来不出来は多少なく、公害や農薬の影響も少なかったのではないか。更に、致命的な病気のある人はすでに亡くなっている。生き残った彼らは、生命力の強い恵まれた人達なのだ。

今年、七十二才になったカールおじさんは、家族をカナダに残して一人でアイルランドへ移住し

た。理由は、税金をこれ以上カナダ政府に払いたくないからだそう。ゴークスにタウンハウスを借りて、一人で住み、家族が時々様子を見に行く事になっている。彼の趣味は、身の上相談。社長の一番大切な仕事は、社員が自分達で解決できない問題を聞くことで、リタイヤールした今も、カナダや日本のビジネスの弟子達にアドバイスをする。家族や友人達の心配をよそに、パートタイムの独身生活は楽しくて、当分止められないそうである。

彼はスーパー老人であるが、こんな人が存在していると、私の不老長寿の研究も楽しくて止められなくなりそう。 (順子)

☆一九九九年が詰まりに詰まって後十日で終わる。恥ずかしながら二十一世紀は二千一年から始まる、ということに最近気が付いた。二千年から始まるものとはかり誤解して、さあ来年は二十一世紀だと自分に言い聞かせていたのである。ちよつと考えれば分かることなのだが、思い違いという事は恐ろしい。これで英語で世紀末をターン・オブ・センチュアリーという意味がよく分かった。ひとつ利口になった年末でした。

☆「オーロラ」にも遅まきながら遂にテクノロジーの変革が押し寄せてきた。印刷所がディスクでなければ印刷を受け付けなくなったからである。今までの切ったり貼ったりのオールドファッション方式ではだめで、すべてをコンピュータでレイアウトしなくてはならない。原稿はすでにEメールで受け取り、そのままレイアウトにかけているが、写真、イラストすべてをコンピュータの中に取り込むということは、どうなることなのか。二千年は全員がコンピュータ・デザインを学ぶ年になりそうです。(K・H)

HELLO JAPAN
Citytv channel 57
Cable 7
EVERY SUNDAY 8:30~9:00AM.

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
 730 QUEEN ST. W. TORONTO
 TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593
<http://www.toronto-sanko.com>



オーロラ
 (代表・平塚かずよ)

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行	年間購読料14ドル	カナダ国内	14カナダドル(送料、GST込み)
小切手を添えて郵便でお申込み下さい		アメリカ	24カナダドル(エアメール送料共)

ネーム _____
 アドレス _____
 郵便番号 _____



SHISEIDO

BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

ショーフレックスのお客様はすべて

V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは
ドライバーがご案内いたします。



●空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。

●テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel:(416)977-6849 Fax:(416)977- 7250

SONY.

Interior design...
...for your ears

